

大谷大学広報

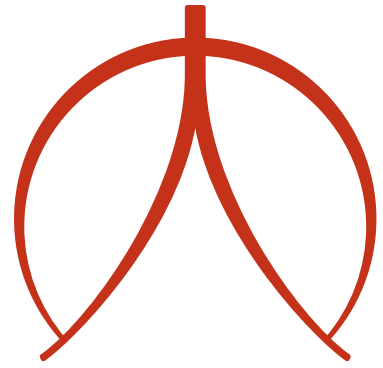
編集 大谷大学広報編集委員会

No.174

2008年1月11日

冬

2007



「ケータイ」使ってますか？
～ 携帯電話への「想い」～

2007年度課外活動
秋季大会結果

学問のしおり
制作への思い
太田 智子

谷大エリア散策
ユリヤ商会

写真でふりかえる大谷大学今昔
校章

SQUARE
無礼であろうが！
～ 占いとコンピューター～
沙加戸 弘

冬扇

10月初めに、10年ぶりに台湾に行ってきた。大陸育ちの私にとって、台湾には特別な思いがあった。中国語を話すことは、私にとっては、何より気楽だと思った。だが今回は、言葉で戸惑いを感じるが多かった。ホテルの部屋には、入り口の電気を“玄関燈”と表示してあった。大陸では“門燈”と言う。町中で売っているお弁当は、漢字も意味も日本語とまったく同じに使われている。大陸では“盒

飯”という。さらに驚いたことに私が中国語の授業で学生に間違った文法として例示した言い回しは、台湾では生きた中国語として使われている。これらは植民地時代の日本語の名残が原因ではないだろうか。

日本に帰る前日に、テレビで“双十節”の軍事パレードのリハーサルを見た。台湾空軍の最新鋭機が総統府上空を掠めて行くのと同時に、リポーターが「このパレ

ードは大陸中国の軍事拡張を強く意識しています…」と声を張り上げていた。

同じ中国語を話しながら、全く違う社会体制の下で、文法や語彙がそれぞれの社会背景によって、確実に変化しつつある。台湾と大陸は依然として互いに遠い存在にある。私はそう感じずにはいられなかった。

(李 青)

「ケータイ」使ってますか？

～ 携帯電話への「想い」～

無言のまま静かに手元を見つめ続ける人も珍しくなくなりました。「ケータイ」とカタカナで呼ばれるようになった携帯電話は、今や単なる電話機ではありません。ケータイはさまざまな役割を持っています。

時計、ファッションアクセサリ、デジタルカメラ、ネット端末、シリコンプレーヤー、ゲーム、ラジオ、テレビ、GPSナビゲーター、などなど。

そして何よりもアドレス帳やスケジュール帳、メール端末として、「無いと困る」という人も多いのではないのでしょうか。

その一方で、ケータイを持たない人、持つことを拒否する人もいます。

それぞれの「想い」をきいてみましょう。



絵文字を恥ずかしがる私

菅谷 太希

私は、いつも、携帯電話のアラームで目を覚まし、携帯電話で現在時刻を確認する。バスや電車の時間を知りたい時や、天気を調べる時など、携帯電話のネットワークサービスをよく使う。カメラ機能で地図などを写しておいて、道に迷った時にその場でその地図を紐解いたりもするし、暇な時は、ゲームなどをして時間を潰したりもする。

おお、こうしてみると、この私も立派に携帯電話を使いこなしているのではないか。親元を離れて一人暮らしをするにあたって、初めて携帯電話を手にしたのが今から6年前だ。当時私は18歳、周りのほとんどの友達には既に携帯電話を持っており、私なんぞは、若干、時代の波に乗り遅れた感があった。そんな私が、今やこのような成長を遂げたのだ。着信音ひとつダウンロードするのも四苦八苦していたあのころが懐かしい。

ん、いや待てよ、何かが抜けている気がする。私が携帯電話を利

用するにあたって足りないもの。そう、メールをうまく使えないのである。

メールひとつとっても、立派に使いこなしている人は、絵文字を駆使して、自分の感情やその場の状況を的確に相手に伝えている。家族で最後に携帯電話を使い始めた母でさえ、絵文字入りのメールを送ってくる。もっとも、目玉マークだったり、子豚マークだったり文脈と何ら関係のない絵文字が多いのだが、それはそれで文面を楽しげにするという点で役に立っている。

ところが私は、絵文字や顔文字などはほとんど使ったことがなく、伝えることも必要最低限のことで文章もそっけない。例えばメール上手の人が「今着いたよ(^-^)v電車混んでて大変だった↓↓ベンチに座って待ってるねp(^-^)q」と打つ文章も、私が打てば「今着いた、ベンチにて待つ」という非常に淡泊なものになる。まず、絵文字を使うだなんて恥ずかしいではない

か。好きな人にメールする時の恋する乙女じゃあるまいし。また電車が混んでいたなどという情報は私の中では、無駄なものとしてはぶかれている。

とはいうものの、携帯電話はやはりコミュニケーションツールである。電話やメールを上手く使いこなしてコミュニケーションをとってこそその携帯電話なのであり、目覚まし時計やゲーム機代わりに使っていても意味がないのかもしれない。私自身コミュニケーション力が無いわけではない。話す時も笑顔で話すように心がけているし、愛想はよいほうだと思う。人前で話すことも苦ではない。そんな私が携帯電話を通すととたんに無愛想になる。それは、きっと電波を介した世界では普通はない、何か特殊なコミュニケーション力が必要なのだろう。その力を身につけたら、これからの情報化社会を楽しく生きられるかもしれないが、私の中でそのような目処はまだついていない。なぜなら絵文字

はやっぱり恥ずかしいと思うからだ。

まあ、このようなことから、私は携帯電話の利用者としては、ま

だまだ未熟者なのである。

(すがたに だいき)
仏教科 第2学年)



ベンリでフベンで キケンなもの

五反田 康裕

私が初めて携帯電話を持ったのは大学4年生。それまでは「ポケベル」を使用していた。そのポケベルは文字も打てず、数字と記号の羅列で意味を持たせる代物であった。例えば「自宅電話番号-5 1 5 1」は「うちにおいで」。「相手の自宅電話番号-1 9 1 9」は「キミのうちにいきます」等...電話番号をただで誰からの連絡かはすぐにわかった。私は友人たちに公衆電話から連絡をとることが多かったため、知らず知らずに電話番号を暗記してしまい、その数は50件以上あった。友人たちからは「歩く電話帳」と重宝されたものである。

ところが、携帯電話を持つようになってから覚えた電話番号と言えば、職場と実家の番号、そして自分の携帯電話くらいである。我が家にはIPフォンなるものが設置されているが、番号は全く覚えていない。昔覚えた番号は今でも数十件記憶しているが、それ以降に覚えた番号はない。携帯電話のおかげで、数字の羅列を覚える機会が無くなってしまい、記憶力が乏しくなった気がする。

電話番号を記憶していない私は、携帯電話がないと自分から発信ができない。初めて携帯電話を紛失した際、友人や家族にも連絡できなくなり、携帯料金請求書とも

に送られてくる発信履歴を見ながら順番に電話し、かけた私が「すみませんがどちら様ですか?」と聞かなければならない恥ずかしい思いもした。それからは発信履歴を毎月ファイリングし10年分位は保存していたが、今の携帯電話は電話帳をメモリーカードに保存できるため、2年ほど前に10年分の発信履歴を気持ちよく捨てることができた。しかし、捨てられないものもある。

私の携帯電話所有歴は12年。その間に携帯電話会社を5回変更し、機種変更は14回している。1年以上近くにいた存在を、代わりの携帯電話が手に入ったから捨てる、ということは性格上できないので、機種変更の度にアドレス帳と化した携帯電話が増えていく。

先日、部屋の整理をした時に出てきた古い携帯電話を、懐かしく思いながらいじってみた。当時の携帯電話にはカメラなんてなかったし、着信音も電子音のみ、当然テレビはついていない。しかし、昔の携帯電話は、頻繁に充電しなくても電池はなかなか切れなかった。新しい機能が充実すればするほど電池の消耗が激しくなり、電池の性能は携帯電話機能に追いついていないのである。

各メーカーが他社よりも魅力的と思わせるための競争をするなら

C O N T E N T S

- p. 2...「ケータイ」使ってますか?
~携帯電話への「想い」~
- p. 6...CAMPUS☆TOPICS
- p. 20...紫明祭を終えて
「学園祭は伝説に」
- p. 22...2007年度 秋季大会結果
- p. 24...学問のしおり
- p. 25...Keiji☆Ban
- p. 32...2008年度学費について
- p. 33...谷大エリア散策
- p. 34...写真でふりかえる大谷大学今昔
- p. 35...学生相談室から
- p. 36...研究室だより
- p. 37...学会だより/出版物紹介
- p. 38...入試結果
- p. 40...大谷中学・高等学校
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p. 41...TANIDAI FRONT
- p. 43...2008年度学年暦
- p. 44...SQUARE

表紙のことば

さあ、ゲートをくぐって
幼教フェスティバルへ ようこそ!!

たくさんの練習を重ね
笑いあり、涙あり、怒りありの日々
今日が成果の発表日
ありったけの想いをぶつけた
歌、劇、ダンスをご覧あれ!

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2008年1月11日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149

ば、電池の性能アップを頑張っ
てほしい。しかし、それは強い衝
撃を与えると火傷するほど発熱
するのは困るし、爆発する電池
はごめ

んこうむりたい。ましてや、犯
罪隠しに利用され、マスコミ各
社が一時的にせよ、その危険性
を煽るようなものは。

(ごたんだ やすひろ)
学生課 職員



“待つ” 幸せ

吉見 友紀

待っている。これから会う約束
をしている友人が来るのを。はや
く読みたい本の発売日。毎週か
かさず見ているTV番組が始まる
のを。楽しみにしている予定の日
がくるのを。レストランで注文
した料理がくるのを。大切な人
からのメールが届くのを。

最後に挙げた“大切な人からの
メール”これはもちろん携帯電話
のメールのことだ。

大切な人にメールを送信して、
返事が返ってくるのを待つ時間。
「はやく返事くれないかなあ。」
とそわそわ落ち着かず何度も携
帯電話を見返してしまう。相手
からの返事がほしい内容のメール
を送ったのになかなか返事がな
いと「どうしたのかなあ」「返
事を返すのが面倒くさくなった
のかなあ」「私のこと嫌いにな
ったのかなあ」等と考えてまた
そわそわ…。

そわそわする…と思う。実は
私はメール不精で有名であり、
そのことでつい先日彼氏に叱ら
れたばかりだ。帰り道、途中ま
で私を送り届けてくれた彼に「
心配だから家についたらメール
を送って。」と言われたのに家
に帰ると手を洗って、うがいを
して…うっかりメールを送る
のを忘れてしまったのだ。さら
に携帯電話を自分の部屋に置
いたまま、他の部屋で夕食をと
っていたため、いつまでたつ
ても私からの「家に着いた」
メールが届

かなかなくて心配した彼が何
度も電話やメールをくれていた
のに気づかなかった。夕食を
とり終わり自分の部屋に行った
時にはもう既に遅く、彼から
「メールがいつまでたつても
届かないし何かあったのでは
ないかと心配した」と大変叱
られた。

その時初めて彼氏が私からの
メールが届かなくてどれだけ不
安な時間を過ごしていたかを
考え、反省した。誰だって待
ち合わせの時に相手が来ないと
最初のうちは「遅いなあ。人
を待たせるなんて失礼だ！」
と怒るが、あんまり遅れると
「来る途中何かあったのだら
うか。」と心配になるのでは
ないだろうか。

待ち合わせに遅れる場合、「こ
ういう理由で遅れます。ごめ
んなさい。」と連絡をいれ
れば相手に余計な心配をかけ
なくてすむ。私もすぐにメール
を送っていれば彼氏を心配さ
せることはなかったはずだ。
最近の携帯電話は機能がよ
くなっているからメールを送
るのに1分もかからない。ど
うしてこの1分を忘れてしま
ったのだろう。

冒頭に挙げたいくつかの“
待つ”例は幸せなものばかり
だ。特に最後の大切な人から
のメールを待つ時間は幸せな
ものであるはずなのに…。

最近の携帯電話はテレビを見
ることができるものもあれば、音

を聴くこと、写真や動画を撮
影することができる等便利な
機能がついた機種も多い。し
かし、たいていの人はテレビ
を見るために携帯電話を購
入するのではないだろう。他
の人と通話し、メールのやり
取りをし、人とのコミュニケ
ーションをもっと豊かで便利
なものにしたいからではない
だろうか。

それなのに私は自分のことを
心から心配してくれる人から
のメールに返事しなかった。
いったい何のために携帯電
話を購入したのだろう。

他の誰でもない自分のことを
本当に大切に思ってくれる
人のためにこそ、この素晴
らしい機械を活用すべきだ
ったのだ。実際彼は記念日
には必ずメールを送ってく
れる。何度読み返しても幸
せな気持ちで胸がいっぱい
になるメールだ。

私は今日も待っている。大切
な人からメールが届くのを。
楽しい絵文字がたくさん入
っているといいな。

(よしみ ゆき)
社会学科 第3学年



ボクは持ってませんから！

木越 康

〈携帯電話〉をテーマに、何か書くように依頼された。最初は即お断りした。なぜなら、私は〈ヤツ〉を持っていないからだ。そう担当者に告げると、待っていましたとばかり、次のように言われた。「そこなんです。持ってないからこそ、書いて欲しいんです！」と。若干押され気味ではあったが、それでも抵抗を試みた。「もっ、持っていない教員は他にもいるでしょう！」と。すると担当者は自信たっぷりに、次のように言った。「こちらで把握しているところによると、この大学で持ってない教員は3人だけです。ただそのうちM先生は、どうも隠し持っているという噂ですぜ…（最後の部分だけ声が小さい）。まるで絶滅危惧種扱いである。なんだかよくわからないが、その不思議な確信に圧倒され、書くことにした。

ところが、期待はずれかも知れないが、私が〈ヤツ〉を持たないのとは何か特別な理由があつてのことではない。問われてはじめて深く考えてみたが、それでも語るべき何ものも見つからない。そう、わたしはただ単に〈ヤツ〉が嫌いなだけである。

そもそも私は、電話が嫌いだ。家に電話があるではないか、職場にも沢山あるではないか、と言う

人もいるだろう。しかし、そのような場にいる時、私は基本的には「鳴るかも知れない！」という“覚悟”を持って生きている。仕事やプライベート、これでも私を必要としてくれる人はいる。自宅や研究室にいる時など、一応は対応する“覚悟”を持っている。

しかし、バスにゆられてボートとしている時、河原で寝そべって本を読んでいる時、家族と遊んだり仲間と楽しく飲んでいる時など、私は電話が鳴ることに対する“覚悟”がまったくできていない。別の空間から、いきなり誰かに飛び込まれる心構えがないのである。だから私は、〈ヤツ〉が苦手なのである。

それともうひとつ。それでも一度、短時間ではあるが、連れ合いのものを持たされたことがある。「子どもから連絡が入るからね…」と、外出先で数時間持たされた。私は受け取ったまま〈ヤツ〉を、何となくジープの前ポケットに突っ込んでおいた。そして30分もすると、そのことをすっかり忘れていたのである。

事件は本屋で立ち読みをしている時におこった。突然私の股間が、ビリビリとシビレだしたのである。「な、なにが起こったんだ？」。私はパニックに陥ってしまった。「つ、

ついに来るべき時が来たか…。」と、まったく意味不明のことまで頭をよぎった。それから私は、恐る恐るシビレる股間に手を伸ばしてみた。すると、なんと忘れていた〈ヤツ〉が、私のジープのポケットの中で激しく震えているのではないか。ホッとすると同時に、私は一生〈ヤツ〉を携帯できないのだと確信した。

胸ポケットに〈ヤツ〉を突っ込んだり、首からぶら下げて平気でいられる人がいる。ウルトラマンではあるまいし、身体の一部で突然何かがピコピコ鳴ったりブルブル震え出したりするかもしれないという緊張によく耐えられるものだ。私は、そんな状況下に生きていけそうもない。考えただけで心臓が止まりそうになる。

こんなこと、一般の人には理解不能であろう。だからこそ絶滅危惧種である。別にわかってもらおうとは思わない。ただ、そんな私に対して時々コソッと耳打ちする人がいる。「先生、本当は持っているでしょ？いいから、教えなさいよ。」と。この馬鹿者が。折角ですから、これを機会にキッパリと言っておきます。「ボクは持ってませんから！」。

(きごし やすし)
准教授 真宗学

2007年度 大谷大学教育後援会文芸奨励賞 「いま伝えたいこと」50字表現 入賞作品発表

今年度の大谷大学教育後援会「文芸奨励賞」の入賞作品は以下のとおりです。この賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的にしています。

今年度も昨年度同様「いま伝えたいこと」をテーマに50字以内で表現していただきました。今回、49名の方から応募が寄せられ、選考の結果、次の方々が入賞されました。

表彰式は、10月26日(金)、宗祖御命日勤行において行われました。

最優秀賞 該当者なし

優秀賞 小川 礼華 (人文情報学科 第1学年) 瀬尾 理江 (哲学科 第3学年)

佳作 石黒 宗登 (哲学科 第2学年) 泉 ゆかり (文学科 第1学年)

河村 敦 (哲学科 第2学年) 神崎 亜弥 (哲学科 第1学年)

木村 有加里 (文学科 第2学年) 谷川 明子 (仏教学科 第3学年)

眞壁 孝治 (哲学科 第3学年)

〔最優秀賞〕 該当者なし

〔優秀賞〕

小川 礼華

(文1・人文)

普通って何

普通ではないって何

普通の基準は

人の数あるから

自分の普通と異なるものを

特殊だと決め付けないで

〔優秀賞〕

瀬尾 理江

(文3・哲)

私の視力が弱まるように

想いや記憶、全てが色褪せていく

覚えていたい

今の気持ちを、今の私の中にある真実を

〔佳作〕

石黒 宗登

(文2・哲)

知れば知るほど知らないことが増えていき
知ることが恐くなる。
しかし、知るのを止めることはできない。

〔佳作〕

泉 ゆかり

(文1・文)

迷った分だけ「ありがとう」を伝えよう。

安心して迷わせてくれる全ての人に

迷う事なんて、沢山ある。

〔佳作〕

河村 敦

(文2・哲)

私は今日

ふと

生きていて良かったと思った。

それは

ただ、

図書館の窓辺に

美しい西日がさしたからである

〔佳作〕

神崎 亜弥

(文1・哲)

この出会いに感謝!

それは貴方達に出会えた奇跡☆

大谷大学で得られた

「人間」という名の

宝物……

〔佳 作〕

木 村 有加里

(文2・文)

人に合わせることで、自分を守った。
でも、個性を持って人と違うことである
のはとても楽しい。

〔佳 作〕

谷 川 明 子

(文3・仏)

後悔は重くのしかかるが、弱さを投げ飛
ばす糧になる。

〔佳 作〕

眞 壁 孝 治

(文3・哲)

どんなに高く聳えた「山」も、歩み続け
れば必ず「到達」できる。焦らず諦めず、
今こそ、その「一歩」を。

大谷大学教育後援会文芸奨励賞選考にあたって

教育後援会の学生支援奨学金の一環として「言葉による表現意欲を奨励することを目的」に、昨年度より文芸奨励賞の選考をいたしております。今年度も「いま伝えたいこと」と題して50字以内の自由表現で作品を募集いたしました。2年目ということで応募が増えるかと思っておりましたが、反して昨年度の3分の1ほどにとどまり少し低調でありました。選考にあたっては、本学の先生方に審査をお願いし、優秀賞2名、佳作7名を

入賞として決定いたしました。

先日若くして亡くなられたZARDの坂井泉水さんの「負けないで」の作詞は、一文章45文字から60文字位で、50文字の表現は相当な文章力のいるものです。応募作品には若者としての力が感じられ、うぶな気持ちが素直に表現されていました。ただ最優秀賞の該当作品が出ず残念なことでした。

専門分野だけの勉強に偏らず、趣味の分野にも大いにチャレンジしてほしいと願っております。文

大谷大学教育後援会会長 頼尊 聖

芸のみならず、芸術、美術、音楽、演劇、スポーツ等若いからできること、学生時代にしかできないことなどにも大いに活躍してください。そこから新しい自己を見出すこと、又それによって自身の進路が見えてくることもあります。今まで気づけなかった自分の隠れた才能が発見できるかもしれません。次の機会にはあなたの作品をお待ちいたしております。

文芸奨励賞の選考をおえて

「いま伝えたいこと」50字表現を学内で募集をしましたところ、応募作品が49編ありました。それぞれに味わいのある作品が寄せられました。

選考には、教育後援会会長と3名の先生方に学内選考委員をお願いし、選考会を開きました。選考に際して留意した点をいくつかあげておきます。まずは50字というフレームのなかで、伝えるべき思いや伝えたいことが十分に表現されているかという点にポイントをおいて審査しました。50字というフレームは、応募者にとって多少窮屈な感じがあったかもしれませんが、フレームがあることで、無駄

な表現を省き、言葉に「いのち」を吹き込み、こころに響く表現であるかというところに審査のポイントをおきました。また、「誰に」対して伝えたいかという対象については、作品の持ち味でもあるところですが、対象が捉えにくく、あいまいな作品を選外としました。

今回は、優秀賞2点、佳作7点の作品が選ばれました。優秀賞に選ばれた小川さんの作品は、極めて大切な人間観をととてもやさしい感性をとおして言葉で表現した作品でした。読み手にとって、心地よいインパクトを残す作品といえるでしょう。同じく優秀賞の瀬尾さんの作品は、心象風景とも内観

学生部長 佐賀枝 夏文

ともとれる表現のなかに極めて鋭利な感覚をもって、読み手のところをつかむ秀逸した文章でした。優秀賞の両作品ともに、読み手のところに残照を残し、読み手のところが自然に動き出すような作品づくりがうかがえました。

残念ながら最優秀賞に該当する作品はありませんでした。佳作7点については講評を割愛しますが、読み手のところをつかむ秀作であったことを申し添えておきます。

文芸奨励賞は、谷大のあたらしい文化として、また、文化形成の役割を担う催しとして定着することを願っております。

細川行信先生を偲んで



本学名誉教授で、真宗学が専門の細川行信先生が、2007年10月24日(水)にご逝去されました。ここ数年、体調がすぐれないとお聞きしておりましたが、年賀状には、「今年も宜しく」と自記されていましたので、ご回復のご様子と慶んでおりました。しかし2008年を迎えることなく、82年のご生涯を閉じられました。

先生は、その生涯を真宗教学史の研究のために捧げられました。真宗教学史に関する沢山のご著書からもうかがわれますように、学生の教育、そして大学の業務の傍ら、^と孜々としてご専門の研究に勤しまれました。

そんな先生は、寺院後継者として、少年時代から厳しい宗教教育を受けられたようで、毎年の報恩講には必ず出仕をされ、お説教の言葉を聞いて、「親鸞聖人は何か大変に遠い存在のようであった」と振り返っておられます。

やがて先生が大谷中学から大谷大学へと進んだころ、時あたかも戦時中で、兵役に

服し、否応なく死に直面し、またその時の過労から病気を患い、「生死出づべき道」を求められるようになったとのこと。しかも関東の地で終戦を迎えたことから、東国での親鸞聖人を偲ぶご縁をいただいたと、お話ししておられました。そのようなバックグラウンドから、先生は、ご自身の求道的な関心とともに、親鸞聖人とその門弟の事蹟、さらに真宗の歴史に研究の関心を広げ、ライフワークとしての真宗教学史の研究に専心していかれたようです。当時先生と机を並べて学んだ私の叔父も先年亡くなりましたが、細川先生の真面目なお人柄を偲んでいたことが、ついこの間のように思い出されます。

先生は、昭和23(1948)年に本学の文学部をご卒業後、研究科に進み昭和29(1954)年に修了されました。昭和31(1956)年に本学の助手として真宗学研究室に勤務され、以来、本学で教鞭を執られました。私が、本学大学院に入学した昭和41(1966)年頃、折りしも学内に学園紛争が惹起し、大学側と学生との間に何度も話し合いが行われました。私は、聴衆の一人として、旧図書館講堂に参集しましたが、先生は、当時、学生部長をお勤めになり、困難な場で、学生側にも権威を振りかざすことなく、双方の理解のために尽力されました。その真摯なお姿が思い出されます。

昭和51(1976)年、先生は、「源空門下の分流と念仏義」という学位論文を提出され、文学博士の称号を授与されました。そんな先生は、ご研究に加えて、学科や学会の業務にも熱心に携わっていただきました。

私は、このころから専任教員として大学にお世話になるようになったのですが、教員研究室は、共同部屋で、私の向いの席が細川先生でした。机を挟んで、とんでもない愚問を度々先生に発しました。そんな駆け出しの私に対して、懇切にお教えいただいたことがなつかしく思い出されます。

私自身、その後の研究で法然上人とその門下の浄土思想に関心を寄せるようになり、先生のご著書からとても多くのことを学ばせていただいております。細川先生の宗祖への篤い想いと、厳密な史料研究に、金子大栄先生の真宗学と山田文昭先生の真宗史学の、本学のふたつの伝統の呼応を感じずにはられません。ご研究のお導きに改めて学恩の深きことを思います。

小生も本学にお世話になって、すっかり歳を重ねてまいりましたが、先生が微笑んでくださるような研究をしたいものだと願わずにはられません。

細川先生、本当にありがとうございました。

(安富 信哉)

本学卒業生がフォトエッセイを出版

本学文学部真宗学科卒業生の大桑千花さんが、2007年9月に著書『クロアチアの碧い海』を産業編集センターより出版されました。『ロスト・ラゲッジ～エルサレムのかたすみで』（而立書房 2006年12月刊）に続く2冊目の出版となります。

大桑さんは1996年に本学を卒業後、20代のときにニューヨークとヨーロッパに住み、30代からは中東のエルサレムを生活の拠点としてイスラエルとクロアチア探求をおこなひ、雑誌や新聞



等にフォトエッセイやコラムを寄稿されており、4月に発売された『クロアチア 世界遺産と島めぐり』（地球の歩き方編集室）には、表紙をはじめ、多くの写真とコラムが掲載されています。

また、大桑さんは、今回の出版後には在イスラエルのクロアチア大使とも面会され、クロアチアの首都ザグレブの観光局にも献本をおこなうなど、国際交流の点からもご活躍されています。

今回の出版にあたり、大桑さんは「ここ数年で人気急上昇中のクロアチア。透き通るアドリア海の美しいその国へ、思わずスローモードな旅に出たくなるフォトエッセイです。ぜひ手に取ってみてく

ださい。」と述べられています。

なお、今回出版の『クロアチアの碧い海』は、『ロスト・ラゲッジ～エルサレムのかたすみで』と一緒に本学図書館の1階閲覧室に配架されています。ぜひ一度ご覧ください。

大桑千花さんのブログ

<http://hrvatska.exblog.jp/>

(企画室)



大桑千花さん

エトヴェシ・ロラード大学と学術交流協定を締結

10月15日(月)、ハンガリーのエトヴェシ・ロラード大学と学術交流協定を締結しました。

エトヴェシ・ロラード大学は、1635年に創設されたハンガリーで最も古い大学です。現在は、全8学部に約32,000人の学生が学んでおり、EU（欧州連合）の大学間共同教育プログラムであるERASMUS（エラスムス）計画のメンバ

ーでもあります。今回の学術交流協定締結は、今後、より仏教研究に力を入れていく計画のもと、ロラード大学文学部教授のHamar Imre氏から本学への要請があり実現しました。Imre教授は、2001年度に本学真宗総合研究所の客員研究員として日本仏教研究に従事された経験があり、本学の仏教研究の伝統をよくご存知です。そして、

ロラード大学に中東欧圏唯一の仏教研究プログラムを構築することに強い熱意を持っておられます。

今後は、日本仏教を専門とする研究者の派遣など研究者レベルでの交流をはじめとし、学生交流などの交流発展に期待が寄せられます。

(教育研究支援課)

中国文学会学術講演会を開催

中国文学会では、今年度、冬の定例講演会のほかに、京都大学人文科学研究所との共催で、10月20日(土)、響流館マルチメディア演習室にて、臨時特別講演会を開催しました。講師には南京大学の曹虹教授をお招きし、「李清照と魏晉風流」の題で講演をいただきました。

た。曹教授は、悲哀と美しさが漂う李清照の詞のなかに魏晉の精神が受け継がれていることを力説されました。学内外から多くの聴講者を集め、盛会のうちに終了しました。

(中国文学会)



講演会の様子(右：曹虹氏、左：司会の京都大学人文科学研究所長・金文京氏)

大谷学会研究発表会を開催

10月23日(火)、響流館メディアホールを会場として、大谷学会研究発表会が開催されました。発表30分、質疑応答10分という限られた



山下憲昭教授

時間内の研究発表でしたが、前もって用意された資料に基づきながら、4名の本学教員が日頃の研究の一端を発表されました。また、学外からの参加者も多く、活発な質疑応答がなされました。今回の発表内容は、例年通り『大谷學報』に論文または要旨として掲載される予定です。なお、題目・発表者は次の通りでした。

能『山姥』と『十牛図』考

モニカ・バーテ 教授

日本人初の入蔵者・寺本婉雅に関する新出資料について

三宅伸一郎 講師

末法到来と空の象徴化：響堂山石窟に刻まれた阿弥陀浄土図と『文殊般若』の相互関係

井上尚実 講師

福祉の地域化と民生委員活動の課題

山下憲昭 教授

(大谷学会)

真宗学会大会を開催

10月26日(金)、尋源講堂を会場として、大谷大学真宗学会大会が開催されました。この大会は、学内外の2名の講師による講演会で、1962年(昭和37年)から開催されています。

今年度はまず、加来雄之本学准



加来雄之准教授



下田正弘氏

教授による「文類」といういとなみ一親鸞の宗教言説」、続いて下田正弘東京大学大学院教授による「伝承といういとなみ一実践

仏教の解釈学」の講演が行われました。

両氏の熱のこもった講演に満堂の聴衆も熱心に聞き入っていました。

た。なお、この講演については、後に学会誌『親鸞教學』に掲載されます。

(真宗学会)

国文学会大会を開催

今年度の大谷大学国文学会大会は、10月27日(土)、尋源講堂で開催されました。

先師法要厳修に続きまして、本学文学部文学科を1972(昭和47)年度卒業の妙蓮寺住職・竹部俊恵氏が、まず井波別院瑞泉寺と太子伝会の発端などについて解説され、その後、瑞泉寺の太子絵伝八幅について資料を示して詳細に説明されました。さらに絵解きが瑞泉寺で始められた経緯、太子伝地方巡

回の開始、現在伝えられている太子伝絵解きの実際、今後の課題について、わかりやすく解説いただきました。

解説の後、瑞泉寺の地方巡回用太子絵伝二幅を掛けて、二歳および四歳の段について、古いスタイルをとどめた口調で二席、興味深く絵解きを実演していただきました。尋源講堂には、教員、学生、卒業生、絵解き研究者、同好の方々などが多数参集し、最後まで

熱心に聴講されました。

参加者一同、聖徳太子絵伝の絵解きを学習し、有意義な会となりました。

(国文学会)



竹部俊恵氏

「京都の大学『学び』フォーラム2007」を本学にて開催

10月27日(土)、財団法人大学コンソーシアム京都が主催する「京都の大学『学び』フォーラム2007」が本学を会場に開催されました。

この「学び」フォーラムは、主に進学を希望する高校生を対象に、高校生活における「学習意欲の向上」や「大学への入学目的の明確化」の機会を創出し、高等学校と大学の「学び」をスムーズに接続することを目的とするもので、今年度は東京、名古屋、大阪、滋賀、福知山、京都の6会場において開催されました。

当日は好天に恵まれ、京都府、滋賀県下を中心に、1,945名(主催者発表)の高校生が来学し、模擬授業や個別相談等に熱心に参加していました。本学からは、「いま、交流がおもしろい」と題し木場明志教授、「お茶と仏教の話」と題し大内文雄教授が模擬授業を開講しました。また「何でも体験コーナー」では宮崎健司教授、平野寿則講師による体験型講座「博物館のお仕事体験」が開講され、多くの高校生が受講しました。

また、休憩時間にはサンクンガ

ーデン特設ステージにおいて、高校生や大学コンソーシアム京都の京都学生祭典実行委員会による創作おどりが披露され、イベントを盛り上げました。

(入学センター)



「博物館のお仕事体験」の様子

仰木の里市民センター主催 子育て支援講座で幼児教育保育科学生が公演

10月27日(土)、大津市仰木の里市民センターの子育て支援講座として、本学の幼児教育保育科有志によるオペレッタが公演されました。

この講座は仰木の里市民センターが地域の子育て支援事業として行っているイベントで、公演をとおして「子どもとともに」感動しながら、子育てをする心のあり方

や子どもとの関わり方を考えていくものです。

幼児教育保育科ではこのイベントのために、オペレッタ「ねずみのけっこん」、「おおきなかぶ」や合唱、リズム遊びを企画し、100名を超える参加者の方々に大変楽しんでいただきました。

イベントに参加した幼児教育保

育科の伴広大さんは「限られた時間の中で、どうすればより楽しい



公演を終わってお見送り

公演ができるかを、みんなで意見を出しながら練習に取り組んできました。そのため当日は、子どもたちをはじめ、たくさんの方々と

楽しい時間を過ごすことができました。この経験を今後にも活かしていきたいです。」と話してくれました。

最後に子どもたちは、学生が用意したお土産をもらって帰途につきました。

(教育研究支援課)

フリーマーケット・第6回「大宮めっけもん市」にアメリカ民謡研究部が協力

10月28日(日)、大宮学区のフリーマーケット・第6回「大宮めっけもん市」が鹿の下公園(京都市北区大宮)にて開催され、設けられたステージでは本学のアメリカ民謡研究部が演奏を行いました。彼らの演奏は公園内に響き渡り、フリーマーケットを盛り上げました。子どもたちを中心にステージ前に多くの聴衆が集まり、リズムに合わせて手拍子をし、MCでは地域



午前の部に演奏した「まりもふぁんたジー」のメンバー

の方とのやりとりも見られました。

今回のフリーマーケットでの演奏は、大宮学区の大宮社会福祉協議会環境部会が、京都市北区役所の地域交流推進事業「北区 地域と大学つながるネット」を通じて本学学生に協力依頼をされたものです。

地域のイベントに参加したことについて、メンバーのひとり社会学科第3学年の内野香平さんは「今回の依頼を受けた時は、フリーマーケットでのライブってどんな感じだろう? どんな場所で演奏するのだろうか? など、分からないことばかりで、少し不安に思いました。しかし、当日になって演奏が始まると、お客様や地域の方々からの温かい声援などがあり、おかげで私たちは楽しく演奏

することができました。このように、ライブを通して地域の方々などと触れ合いをもてることは、とても良い機会でうれしく思います。これからもこのような機会を大切にし、さまざまなライブ活動を楽しんでいきたいと思えます。」と感想を語ってくれました。

(企画室)



午後の部に演奏した「BLB」のメンバー

開放セミナー「大乘仏教のあゆみ—親鸞の眼を通して—」、NPO法人尋源舎の協賛を得て開催

2011年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌に向けて、開放セミナー「大乘仏教のあゆみ—親鸞の眼を通して—」がNPO法人尋源舎の協賛を得て、この秋から始まりました。

このセミナーでは、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、更なる展開を遂げていく様子を、親鸞の視点をとおして、真宗学・仏教学・史学の各分野から学



木村学長の講義の様子

ぶものです。

今回の木村学長による、「総論—教主釈尊—」(全3回)によってスタートし、七高僧(龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然)、そして聖徳太子の“人と思想”をテーマに本学教員が2010年度までリレー講義を行います。

NPO法人尋源舎は、仏教的な文化と教養を広く伝えることが、豊

かな社会の実現のために必要であるとの視点から、仏教を公開していくという目的を持っており、このセミナーのテーマが尋源舎の趣旨に沿ったものであることから協賛をいただきました。

なお現在、2月より開講する「大乘仏教の礎—龍樹—」(全6回)の受講申し込みを受付中です。

(教育研究支援課)

開講計画

	前期 5～7月	後期 10～12月	冬期 2～3月
2007年度		①総論(3回)	②龍樹(6回)
2008年度	③天親(6回)	④曇鸞(6回)	⑤道綽(6回)
2009年度	⑥善導(6回)	⑦源信(6回)	⑧法然(6回)
2010年度	⑨聖徳太子(6回)		

人権をめぐる2つの学習会を開催

教職員を対象とする人権問題学習会が、10月31日(水)、1号館1101教室で開催されました。今年度は4つある「人権教育推進委員会」の中から、第2部会（民族差別問題）と第4部会（性差別問題）の報告がありました。

第2部会は「“在日コリアンの100年”学習報告会」と題して、部会内でこれまで行なわれた、在日コリアンの歴史の概略、朝鮮学校の歴史と生徒のアイデンティティ、在日コリアンによる文学といったテーマについての学習内容を中心



第4部会 滝口直子教授

とした報告を行ないました。

第4部会では「セクシュアリティの多様性」と「ワーク・ライフ・バランスについて」の2つの発表を行ないました。前者は、セクシュアル・マイノリティとされる人々のさまざまなありかたを、具体例を交えて報告しました。後者は、仕事と家庭の調和という考え方に端を発したワーク・ライフ・バランスの概念に関して、基本的な事項からの説明と問題提起を行ないました。約60名の参加者からは、活発な質問が出されました。

また2007年度第2回“人権問題を共に考えよう”全学学習会が12月5日(水)、本学講堂において開催されました。今回は2部構成で、その第1部では、本年10月末に学内で発見された差別落書についての報告と学習が行われました。続

いて第2部では反差別ネットワーク人権研究会代表の田畑重志氏を講師にお招きして「インターネット上における差別の現状と課題」というテーマで講演をしていただきました。田畑氏は、落書やネット上の書き込みなど匿名性の陰に隠れた差別行為が増えている現状について実例を挙げてお話しください、「差別の痛みが分かる人間」を育てていくような人権教育の重要性を指摘されました。

(人権センター)



田畑重志氏

中学生「生き方探究・チャレンジ体験」・高校生「インターンシップ」を受け入れ

11月5日(月)から11月9日(金)まで、京都市立加茂川中学校の生徒2名が「生き方探究・チャレンジ体験」のために本学を訪れました。2000年度から始まったこの体験は、21世紀の社会を担う中学生に、それぞれの興味や関心に応じた多彩な職場体験や勤労体験の機会を提供し、自らの在り方と生き方を考えるきっかけを生み出してもらうことが目的です。

今回本学を訪れた辻澤由佳さんと、久保幸子さんの2名には企画



図書館での体験の様子

室、図書・博物館課、教務部での仕事を体験していただきました。企画室では広報物の設置・配布や資料整理、図書館では図書の修理や整理、教務部では教材の準備、板書テイク作業に取り組んでもらいました。二人は教務部での体験では、「授業時間が長い」、「先生がマイクを使って授業をしている」など、中学校の授業との雰囲気の違いを感じ、また、図書館での体験では「今まで、本に貼っているバーコードは貼っていて当たり前だと思っていましたが、その作業をしてくれている人がいるということに気づいた」と述べてくれました。今回の体験を通して「支えてくれている人たちのおかげで学校生活が成り立っている。これからはそういうことを感じていきたい」と話してくれました。

また、11月21日(水)～22日(木)、京都市立伏見工業高等学校の生徒2名が、インターンシップのために本学を訪れ、企画室での仕事を体験されました。産業デザイン科の2年生の宮前諒子さん、山川穂乃佳さんの2名には、学生食堂等の利用案内を作成し、本学を見学に訪れた中学生に食堂の使い方を説明するプレゼンテーションや事務作業をしていただきました。今回の体験に参加した二人は「突然のプレゼンテーションには驚いたけれ



プレゼンテーションのコンテンツ作成

ど、中学生に発表するという普段できない体験をさせていただきました。簡単な事務仕事も手伝わせていただけて、事務の仕事の大変さが身に染みてわかりました。貴重な体験をありがとうございました

た。」と感想を語っていただきました。

(企画室)



プレゼンテーションの様子

京都明德高等学校との高大連携事業を実施

11月6日(火)~11月8日(木)、京都明德高等学校との高大連携の取り組みとして、スカラシップ生(18名)の受け入れとインターンシップ生(1名)の受け入れを行いました。

スカラシップとは、大学の授業体験を行うプログラムのことで、本学での学びの基礎となる「人間学」の授業を全員で受講したほか、将来の進路希望にあわせて「中国近世・近代史講義」や「小児栄養」等の授業を受講しました。

インターンシップでは、商業科2年生の切手大介さんが博物館業務の就業体験を行いました。博物

館では、受付や監視業務の他、古文書や卷子等の文化財の取り扱い実習や冬季企画展の展示準備などを行いました。

今回のインターンシップ体験について、切手さんは「実習では文化財の取り扱い・調査、展示用パネルの作成などさまざまな学芸員の仕事を体験することができました。最初に学芸員と聞いて予想していた書物や研究資料などの展示の受付・監視といった内容だけでなく、管理や調査・展示の下準備などさまざまな仕事があり、表に出るようなことは少ないけれど一つひとつの作業が大変やりの

ある仕事だと知りました。今まで博物館などに行ってもなんとも思わずに観覧していましたが今回の実習で目には見えない大変さや苦勞を知り、今後の自分の価値観や視野を広げることに生かしていきたいです。」と感想を述べられました。



受付で来場者対応中の様子

藤田昭彦教授が京都府私立学校教育功労者として表彰される

藤田昭彦本学教授が、府内の私立学校の教育振興や発展に貢献した人に贈られる教育功労者表彰を幼稚園部門で受賞されました。藤田教授は大谷幼稚園の園長を務めるかわら、京都府私立幼稚園連盟の副理事長として活躍されたこ

とが評価されたもので、表彰式は11月10日(土)、京都市アバンティホールにて京都府私立幼稚園研修大会内で行われました。

(企画室)



藤田昭彦教授

「Mac OS X 10.5 Leopard」にチベット語環境を無償提供

2007年10月26日に世界同時発売された、アップル社の新OS「Mac OS X 10.5 Leopard」に、真宗総合研究所・西藏文献研究班が開発したチベット語システムが標準搭載されました。

本研究班では、1990年代前半からチベット語のコンピュータ利用に取り組み、1995年には、マッキントッシュの多言語環境「World-

Script」バージョン7.1に対応した「Tibetan Language Kit for Macintosh」(以下TLK)を開発、国内外の学会向けに配布しました。その後「WorldScript」が7.6にバージョン・アップされたのにもない、対応アップデート版を2000年にWeb上で公開、配布しました。いずれの配布も無料でおこなったものです。

2001年にアップル社がMac OS Xを発表して以降もTLKのアップ



プレス向け説明会の様子

データ版開発を続けており、昨春秋には、名前を「Otani Unicode Tibetan Language Kit」と改め、そのパブリック・ベータ版を公開しました。

こうした長年の取り組みが、世界的コンピュータ・メーカーであるアップル社によって認められたのです。それは、本研究班のシス

テムには、長い伝統を誇る本学のチベット研究の成果が盛り込まれています。「Kailasa (カイルーサ)」「Kokonor (ココノール)」という2種類のフォントは、世界標準の文字コードであるUnicodeに対応しています。これにより、異なったOS間でのチベット語データ・ファイルのやりとりはもちろ

んのこと、チベット文字を使ったWebページの作成や閲覧、メールのやりとりなども極めて容易となりました。

今回のこの出来事が、チベット文化の発展に大きく寄与すると信じています。

(正宗総合研究所・西藏文献研究班)

第12回大谷大学同窓会ホームカミングデーを開催

学園祭期間中の11月10日(土)に同窓会主催による、恒例の「ホームカミングデー」を開催いたしました。退職された先生や専任教員の出席のもと、全国より約160名の同窓生やご家族などの参加がありました。

第I部「谷大検定 ～We Love 谷大～」では、博綜館屋上での記念撮影の後、メイン会場の第1会議室で、久しぶりに再会した恩師や旧友と、和やかな懇談の場をもつことができました。また、当日の参加企画であるクイズツアー「谷大今昔」では、谷大の「今と昔」をテーマに、「NPO法人 尋源舎」「尋源講堂」「1号館壁彫華巖」「知進守退 石碑」について出題され、構内に置かれたピン

トをもとに解答していただきました。キャンパスを散策する際には、当日配布された「学園祭模擬店利用券」を利用し、模擬店にも参加しながら在学生との交流も楽しめました。

第I部後半の「お楽しみ抽選会」では、“第12回”ホームカミングデーにちなみ、参加者の中から抽選により、12名の方々に豪華な味のお楽しみ袋が景品として贈られました。また、クイズツアー「谷大今昔」全問正解者を対象として、全国の同窓会各支部からご提供いただいた特産品が贈られ、大変好評でした。さらに、模擬店を利用された参加者の投票により、GLOBAL SQUAREが模擬店優秀団体として選ばれ、ホームカミン

グデーの席上で発表されるとともに、翌日の後夜祭において同窓会より表彰され、賞品が贈呈されました。

その後、京都ロイヤルホテル&スパに会場を移し、第II部「懇親会」が開催され、和やかな雰囲気の中、なかなかに盛会裡に終了いたしました。

(校友センター)



第I部の懇談風景

第4回「全国高校生『人間が大好きです!』表現コンテスト」表彰式を開催

11月10日(土)、響流館メディアホールを会場に第4回「全国高校生『人間が大好きです!』表現コンテスト」表彰式が行われました。このコンテストは高校生の文化活動支援を目的に行われているもので、今回は北は北海道、南は沖縄県から89作品が寄せられました。審査は本学の藤坂初裕広報編集委員長、福田洋一教授、采翠晃講師、共催のKBS京都から役員2名、そしてテレビドラマなどで活躍中の西村和彦さんを審査員として迎え厳正に行われました。

その結果、映像作品部門は兵庫県立龍野高等学校放送部の皆さん、ホームページ部門は福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の長浜明日香さん、谷川朋花さんが制作した作品がグランプリに選ばれました。

今年の応募作品を振り返ると両部門とも社会問題を通して「ひと」に焦点を当てた作品が上位入賞となりました。また全編コンピューターグラフィックスで制作した作品もあり、卓越した技術力に審査員も感心させられました。上位受

賞作品などは下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.kbs-kyoto.co.jp/ningendaisuki/>

(企画室)



上位入賞された皆さん

GLOBAL SQUAREの活動

◎学園祭に模擬店を出店

11月9日(金)～11日(日)に開催された学園祭にGLOBAL SQUARE学生スタッフが留学生と一緒にワッフルの模擬店を出店しました。今回の出店は、留学生とともに学園祭を盛り上げたいというGLOBAL SQUAREで活動する学生スタッフの熱意がきっかけとなり実現に至りました。学園祭当日は、ワッフルのトッピングに工夫をこらしたり、大きな声でワッフルを売ったり、普段とは違うお互いの一面を発見することができたようです。リーダーとして頑張った史学科第3学年の樋口忠宣くんは、「留学生にも勉強だけではない大谷大学での思い出を作ってほしいと思い企画をしました。準備は大変でしたが、学園祭当日はみんな100%の



ワッフルを売る様子

力をだして協力してくれたので、たくさん売ることができました。GLOBAL SQUAREで学園祭に参加したおかげで、留学生と学生スタッフの距離がぐっと近づいてひとつになることができました！」と話してくれました。

◎文化体験「おせち料理の会」



おせち料理完成記念写真

12月19日(水)、お正月を前に日本文化体験企画として「おせち料理の会」を開催し、留学生と日本人学生あわせて20名が参加しました。これは、日本の代表的な行事食であるおせち料理にこめられた意味を学び実際に作ってみることで、留学生に日本の食文化に対する理解を深めてもらうこと、また、日本人学生との交流の機会となるように企画したものです。

講師の吉田陽子先生は、おせち料理の始まりから、また、それがどのように広まり現在に受け継がれてきたかを詳しく熱心に説明してくださいました。参加した学生は、興味深そうに聞きながら聞いており、その後の調理実習では、お煮しめ、伊達巻、栗きんとん、紅白なますを分担して作りました。実習中はどの学生も、真剣な眼差しで料理に取り組み、できあがったおせち料理に満足をした様子でした。最後には、自分たちで作ったおせち料理に黒豆や田作り、お雑煮を加えて、みんなでいただきました。留学生も日本人学生も、日本の食文化に触れる良い機会となり、お互いの交流もさらに深まったようです。

(GLOBAL SQUARE)



調理実習の様子

仰木の里まちづくりフェスタ2007への協力

11月11日(日)、本学の湖西キャンパスがある大津市仰木の里地域の市民センターにて、「仰木の里まちづくりフェスタ2007」が開催されました。このイベントは、仰木の里に住む方々が主体的に「まちづくり」のあり方を考え、新しい「まちづくり」の実践活動の発表や、交流を目的とするもので、当日は約1,000名の参加者がありました。

今回はまちづくりフェスタのステージに、本学幼児教育保育科有志(小島孟さん・小森淳史さん・小八木亮佑さん・中村哲也さん・

向井佑二さん)で結成されたアカペラグループ「どんぐりブラザース」が参加しました。合唱「どんぐりころころ」「もみじ」「見上げてごらん夜空の星を」「虹」を披露し、そして豊住征子教授による独唱「赤とんぼ」など昔なつかしい童謡や唱歌に、客席はあたたかい空気に包まれていました。

イベントに参加した「どんぐりブラザース」の小森淳史さんは「歌唱法の授業の総括として、多くの観客の前で童謡を歌わせていただくという機会を与えていただき、本当に貴重な体験になりました。

た。ハプニングもあったのですが、唄うことの喜びや、楽しさを再確認できたように思います。」と話してくれました。

(教育研究支援課)



豊住教授とどんぐりブラザース

京都府立鴨沂高等学校との高大連携事業を実施

11月15日(木)、高大連携事業として、京都府立鴨沂高等学校において、本学のモニカ・ペーテ教授による、伝統芸能である能の身体表現についての授業が行われました。

鴨沂高等学校では、総合的な学習の時間の一環として国語科「表現」を開講しており、演劇などに関心のある学生が受講しています。



「井筒」のイメージを表現する

今回の授業は、日本の伝統芸能である能を取り上げたことから国語科「古典」との合同授業となり、17名の高校生が受講しました。

授業では、能の身体表現についての解説だけでなく、多くある能の作品の中から「井筒」を取り上げ、最初に場面の解説を行い、その後、グループに分かれて、それぞれがイメージしたままに演じてもらい、最後には全員が扇を持って能を舞いました。

今回の授業に参加した3年生の山本和実さんは「実際に自分の体を使って体験してみるとということ、また、大学の授業を受けるという意味でも、大変貴重な時間でした。

少人数ということもあり、とても充実していました。能という視点から『表現』というものを見つめ直して、また新しい発見もあり、時間が足りないように感じました。」と感想を述べられました。

(企画室)



扇を持つての演舞

西洋哲学倫理学会秋季公開講演会を開催

去る11月22日(木)、尋源講堂において、東京大学大学院人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座(上廣倫理財団寄附講座)教授の清水哲郎氏を講師として迎えて、西洋哲学倫理学会秋季公開講演会が開催されました。

「医療の哲学」や「臨床倫理学」に詳しい清水先生は、「死に向か

いつつ希望を持つ」と題した講演のなかで、治る望みがたたれ、あとは死を迎えるのみといった状況のなかで私たちはいかに希望を持つことができるのか? という重い問いに対して答えようとされました。清水先生の考えは、「死後の生」に期待するのではなく、自分がいま生きつつある厳しい生を肯定した時、さらに一歩先に踏み

出そうとする姿勢として希望が現れるのであり、そのような希望は、共に生きる人々の輪のなかで支えられることによって生じる、というものでした。

講演は、「千の風になって」などを題材としたわかりやすい内容であり、哲学科の学生以外の聴講者も多く迎え、盛況となりました。

(西洋哲学倫理学会)

大学報恩講を厳修

11月27日(火)、講堂において、学内外から多数参集のもと、大学報



三桐慈海氏

恩講並びに歴代講師謝徳法要が挙行されました。

宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂で、学長の調声により『正信偈』を全員で唱和して報恩講を厳修しました。引き続き歴代講師謝徳法要に移り、『阿弥陀経』の読経のなか、来賓、教職員、学生がそれぞれ焼香を行いました。

また、本年も6名の学生の出仕があり、全学挙げての法要となりました。

法要終了後は、三桐慈海名誉教授により「親鸞聖人と涅槃経」の講題で記念講演が行われました。その後、食堂に会場を移して小豆粥のお歳を全員でいただきました。

(総務課)

英文学会年次大会を開催

英文学会は英文関係の教員と文学科英文学コースの学生から成る学会です。毎年、11月下旬に研究発表や講演会を開催しています。

今年は11月29日(木)に1号館1111教室において実施しました。まず、源真帆任期制助教が「ワーズワースの作品に登場する『子ども』について」と題して、ワーズワースの詩の中で描かれている子どもが、

現実の子どもをそのまま描いたものではなく、詩人自身の幼年期の体験に基づく理想化された子どもであることを具体的に論じられました。

引きつづき学外からはキャサリン・ルドヴィク先生をお迎えし、「Illustrated Introduction to the Changing Aspects of a Goddess」と題して、ヒンドゥー教の女神で

あるサラスヴァティが、日本の弁才(財)天になるまでの変遷の過程をたくさんの写真を通して、わかりやすく英語で講演していただきました。

当日は、学生・教員約30名が出席し、熱心に聴講した後、学内で懇親会を持ち、大変有意義な時間を過ごすことができました。

(英文学会)

博物館特別展「法隆寺一切経と聖徳太子信仰」

博物館では、10月9日(火)から11月28日(水)まで、特別展「法隆寺一切経と聖徳太子信仰」を開催しました。法隆寺一切経は平安時代末期の代表的な一切経(仏典の一大叢書)です。この展覧会では、本館所蔵の法隆寺一切経約80巻を中心に、斑鳩寺(兵庫県)・鶴林寺(兵庫県)・観音寺(滋賀県)・四天王寺(大阪府)・中山寺(兵庫県)・法隆寺(奈良県)・祐誓寺(愛知県)・奈良国立博物館・京都国立博物館など各位の協力のもと、法隆寺一切経の書写の様子やその特徴を取り上げ、また書写事業の背景にあ

った聖徳太子信仰に関わる彫刻・絵画など、計41点(うち重要文化財5点)を展示しました。

本展覧会にあわせて、10月13日(土)に宮崎健司本学教授(博物館学芸員)による講演会「法隆寺一切経の形成」、11月3日(土)に田中嗣人華頂短期大学教授による講演会「聖徳太子信仰と法華経」を開催し、好評を博しました。

また10月19日(金)と11月23日(金・祝)には宮崎学芸員によるギャラリートークが、開館日で0と5の付く日(計8回)には学生ガイド解説ツアーを開催し、展示の概要をわ

かりやすく説明しました。

11月6日(火)からは、試験的に無料の音声ガイドを導入し、コーナー解説を含む15ヶ所の解説を自由に聞くことができるようにしました。

(図書・博物館課)



田中嗣人氏

博物館冬季企画展 京都を学ぶ「拓本でみる京の梵鐘」

博物館では毎年「京都を学ぶ」という共通テーマで冬期企画展を開催しています。今年度は「拓本でみる京の梵鐘」として12月4日(火)から22日(土)まで展示しました。本企画展は、2003年度冬季に開催した企画展が、期間が短かったため再展示の要望が多く、今年度実現することになったものです。館

内には、現存最古の梵鐘である妙心寺梵鐘銘や、「三絶の鐘」として有名な神護寺梵鐘銘、大坂の陣のきっかけとなった方広寺梵鐘銘など、貴重な梵鐘の拓本15点を展示しました。これらの拓本によって、京都に所在する諸寺院の梵鐘が鑄造された歴史的背景や、一つひとつにこめられた人びとの願い、

その造形美などを感じとっていただけかかと思えます。

(図書・博物館課)



展示室風景

仏教学会公開講演会を開催

去る12月4日(火)、仏教学会公開講演会が開催されました。

今年度は講師に、中島岳志北海

道大学公共政策大学院准教授をお迎えし、「ヒンドゥー・ナショナリズムと現代インドの行方」と題

してお話しいただきました。

多方面で活躍されている著名な先生のため、聴衆がひとつの会場

に入りきらないことを想定し、主会場のメディアホールに加えて1214教室へも映像・音声配信しました。両会場合わせて約180名もの方々にご来聴いただきました。

私たちが学んでいる仏教のふるさであるインドが今どういう状況なのか、また、それが現在の私たちとどのようにリンクされているか。そういったことを、中島先

生ご自身がこの問題に取り組むきっかけを紹介されながらお話しくださいました。

インド人ボースが日本という異国で体験したことや、いまインドで起こっていることは、現在ここで生きている私と無関係ではなく、同じ課題を共有しているのだと感じさせられました。

なお、本講演会の内容は、後日

『佛教學セミナー』に掲載される予定です。(仏教学会)



中島岳志氏

短期大学部文化学科スピーチコンテストを開催

12月5日(水)、響流館メディアホールにてスピーチコンテストを行いました。文化学科では、コミュニケーション能力や日本語運用能力を高めるため、「日本語表現Ⅰ」を必修としています。今回のコンテストはその日頃の成果を内外に披露し、次回の授業へと繋げていくという狙いのもとに行われました。各クラスからスピーチ発表者2名とその学生たちを紹介する学生1名を選び、他の学生と教員は審査員として参加しました。

1位には「62年後の戦争体験」

という題で、ハワイの戦争博物館を訪れたときに、日本人の加害者としての意識を体験したことを語ってくれた田形静佳さんが選ばれました。彼女は「話す内容をきちんとまとめるのも大変だったけど、話すスピードがどうしても速く単調なので、間をとるようにと何度も言われ練習しました。友人や先生からも聞いてもらって悪いところを直すようにしたのが良かったと思います」と感想を語ってくれました。他に平田智菜さんが2位に、村山祐二郎さんが敢闘賞に選

ばれました。

いずれのスピーチからも、自己を表現したいという欲求の強さを改めて感じさせられました。

(文化学科)



左から平田智菜さん、田形静佳さん、村山祐二郎さん

本学博物館「京都市内博物館施設連絡協議会表彰状」を授与される

12月5日(水)、京都ホテルオークラにおいて、京都市内博物館施設連絡協議会設立15周年記念式典及び祝賀会が開催されました。この式典に本学博物館も招待を受け、同協議会の事業推進に貢献したこ

とに対し「京都市内博物館施設連絡協議会表彰状」を、また生涯学習への取り組みを評価され「京都市長感謝状」が授与されました。

(図書・博物館課)



中国文学会学術公開講演会を開催

中国文学会では、定例の冬の学術公開講演会を、12月11日(火)に尋



中原健二氏

源講堂にて行いました。講師には中原健二氏(佛教大学教授)をお招きし、「中国古典詩の解釈—李商隱「楽遊原」を題材に」との演題でお話をいただきました。中原先生は、「夕陽無限に好し、只だ是れ黄昏に近し」の解釈をめぐって、二句を繋ぐ「只是」の語をどう解釈するかが問題なのではなく、

沈んでゆく夕日と、黄昏が近づいている、このふたつの関係をどう理解するか、それが重要なのだ、という、詩を読むことについての根本にかかわる話をされました。学内外から多数の聴衆を集め、盛会のうちに終了しました。

(中国文学会)

就職活動報告会を開催

12月12日(水)、響流館のギャラリーにおいて「就職活動報告会」を開催しました。この報告会は、就職を希望している文学部第3学年と短期大学部第1学年の学生が、内定を得た先輩の体験談やアドバイスを聞き、これからの就職活動に役立ててもらうことを目的に毎年開催しています。

今回は、40名の就職内定者に協力をいただきました。熱気につつまれた会場内では、約180名の就職希望学生が、先輩の親身なアドバイスを耳を傾け質問をしていました。寄せられたアンケートには、身近な先輩のアドバイスに勇気づけられ、今後の就職活動に前向きに取り組みたいという内容が多く

ありました。

(進路就職センター)



報告会の様子

石間奨学金が3名の学生に贈られる

去る12月14日(金)に、石間奨学金証書授与式が尋源講堂にて執り行われ、奨学生3名に証書と記念品が贈られました。今年から始まったこの奨学金は、石間裕氏からの寄付金を財源としており、大谷大学・大谷大学短期大学部での学びに強い意欲を持ちながら、学費の支弁が困難な最終学年の学生に対

して支給されるものです。創設者である石間氏より奨学生に向けて、「これを縁として、将来、もし困ったことがあれば、いつでも相談してください」と温かい励ましの言葉と、「ひとりの人で良いから、困っている人を助けてください」と卒業に向けての饒の言葉をかけられました。(学生課)



証書授与式にて

幼教フェスティバルが開催される

幼児教育保育科の「第22回幼教フェスティバル」が、12月16日(日)、講堂において開催されました。今年のテーマは、これから社会に出て多くの風を受け、困難に出会っても、自らの進むべき方向を見つけて出歩いていけるように、ということで「風見鶏」としました。学生たちで創意工夫を重ね、午前の部(11時~12時15分)と午後の

部(13時半~17時)にわたって、歌・劇・ダンスありのバラエティーに富んだ演目を披露してくれました。大谷幼稚園児とそのご家族をはじめ、近隣の方々、在学生の保護者の方々、卒業生等、多くの方々に来ていただき、ほぼ満席状態でした。学生たちの感性・構想力・表現力が伝わってくる、熱い力に満ちた、息の合った発表会で

した。

(幼児教育保育科)



兵藤一夫教授が博士(文学)の学位を取得

このたび、本学の兵藤一夫教授が、学位論文を提出され、博士(文学)の学位を取得されました。授与式は、12月18日(火)本学にて行われました。

◎兵藤一夫教授

「初期唯識思想の研究
—唯識無境と三性説—」



授与式の様子

紫明祭を終えて 「学園祭は伝説に」

大谷大学学園祭実行委員会

委員長 青木 絵里子



「おつかれさま!!!」「本当にありがとうございます!!!」2007年度紫明祭が終わった瞬間、幹部は泣きながら抱きあっていました。

今年も無事学園祭が終わりました。4月に今年度の学園祭実行委員会が発足し、本当にあつという間でした。時を駆ける瞬間を間の当たりにした気分です。今年のテーマは「It's しょう time!!」でしたが、この「しょう」にはさまざまな漢字をあてることができます。学園祭に関わった人は皆それぞれ独自の「しょう」を発見したことでしょう。

そこで学園祭で見つけた「しょう」を漢字一文字で表してみたいと思います。私の「しょう」は「生」「生きる」という漢字です。なぜかという、学園祭を通して私は一人ではなにもできないけれど、人の助けによって何かひとつ作りあげることができる実感しました。よって今まで「生きる」と思っていました。学園祭を通して「生かされている」と思いました。自分だけではなく、多くの支えによって本当に自分は生かされ、幸せなことだと感じました。私のように委員長を務めさせても

らえる人はどこにでもいるわけではなく、大変貴重な経験をさせていただきました。そして、苦勞はしましたが、地域の方々とフリーマーケットという形で交流をもてるきっかけがあり、エフエム京都α-STATIONの協力のもと、大谷大学内から電波にのせて、より多くの方々に大谷大学の学園祭を知ってもらうことができました。結果的に見て、天気も晴れ、お客さんも大勢、笑顔が色々な場でみられました。これが伝説の学園祭なのではないでしょうか。

学内では今日も紫明祭を通して始まった新たな学校生活が始まっています。学園祭は終わりましたが、私たちのお祭りはまだ始まったばかりです。

そして最後に教職員の方々、サークル・ゼミ団体の方々、三日間の学園祭に関わった全ての方々に“熱く”御礼申し上げます。





2007年度 秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日程	結果	対戦校	会場
卓球部 (男子) 関西学生卓球リーグ戦 Ⅲ部Aブロック6位 Ⅲ部残留	8月30日 (木)	● 0 - 3	天理大学	京都府立体育館
	8月31日 (金)	● 0 - 3	大阪商業大学	〃
	9月 5日 (水)	● 1 - 3	大阪体育大学	〃
	9月 7日 (金)	● 0 - 3	大阪産業大学	尼崎市記念公園総合体育館
	9月 9日 (日)	● 0 - 3	大阪工業大学	〃
卓球部 (女子) 関西学生卓球リーグ戦 Ⅲ部Aブロック5位	8月30日 (木)	○ 3 - 0	摂南大学	〃
	8月31日 (金)	○ 3 - 1	流通科学大学 (入替戦)	大阪経済法科大学
	9月 5日 (水)	● 0 - 3	兵庫県立大学	京都府立体育館
	9月 6日 (木)	● 1 - 3	神戸大学	〃
	9月 7日 (金)	● 2 - 3	奈良女子大学	尼崎市記念公園総合体育館
柔道部 (男子) 京都11大学親善柔道大会 1部4位	11月17日 (土)	● 2 - 3	滋賀大学	〃
		● 1 - 4	京都学園大学	京都学園大学
		● 2 - 3	佛教大学	〃
硬式野球部 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 I部3位	9月 5日 (水)	○ 5 - 4	京都府立医科大学	〃
	9月 8日 (土)	○ 6 - 1	花園大学	守山市民球場
	9月22日 (土)	● 1 - 4	〃	太陽ヶ丘球場
	9月23日 (日)	● 2 - 7	佛教大学	佛教大学園部グラウンド
	9月29日 (土)	● 1 - 7	〃	〃
	10月 1日 (月)	○ 2 - 1	京都学園大学	太陽ヶ丘球場
	10月 2日 (火)	● 1 - 7	〃	〃
	10月 6日 (土)	○ 2 - 1	〃	〃
	10月 7日 (日)	○ 10 - 1	びわこ成蹊スポーツ大学	あやべ球場
	10月24日 (水)	○ 3 - 0	〃	〃
	10月25日 (木)	○ 3 - 2	京都創成大学	西京極球場
	サッカー部 関西学生サッカー連盟秋季リーグ戦 Ⅲ部Aブロック2位	9月 9日 (日)	○ 5 - 1	〃
9月30日 (日)		○ 2 - 1	京都精華大学	京都外国語大学西山グラウンド
10月14日 (日)		○ 3 - 1	滋賀大学経済学部	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
10月28日 (日)		○ 2 - 1	京都外国語大学	京都外国語大学西山グラウンド
11月 4日 (日)		△ 4 - 4	京都橘大学	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
11月11日 (日)		△ 1 - 1	帝塚山大学	京都外国語大学西山グラウンド
11月18日 (日)		○ 3 - 1	大阪府立大学	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
11月24日 (土)		○ 6 - 0	大阪工業大学	〃
Ⅲ部-Ⅱ部入替戦 Ⅲ部残留	12月 9日 (日)	● 1 - 4	滋賀県立大学	〃
剣道部 関西学生剣道優勝大会 1回戦敗退	9月 9日 (日)	● 1 - 4	関西外国語大学	〃
		● 0 - 5	龍谷大学	大阪中央体育館
全日本仏教系大学剣道大会 1回戦敗退	10月14日 (日)	● 1 - 4 2分け ● 0 - 5 2分け	流通科学大学	〃
バスケットボール部 (男子) 関西学生バスケットボール連盟秋季リーグ戦 Ⅲ部Bブロック12位	9月 2日 (日)	● 57 - 77	佛教大学	大谷大学
	9月 8日 (土)	● 54 - 85	東洋大学	〃
	9月16日 (日)	● 56 - 100	関西福祉科学大学	奈良大学
	9月17日 (月)	● 77 - 93	四天王寺国際仏教大学	王子スポーツセンター
	9月23日 (日)	● 61 - 105	和歌山大学	大谷大学
	9月24日 (月)	● 73 - 87	近畿福祉大学	〃
	9月29日 (土)	○ 82 - 76	滋賀大学	大阪芸術大学
	9月30日 (日)	● 69 - 76	大阪芸術大学	岸和田市総合体育館
	10月 7日 (日)	● 81 - 99	京都府立大学	大谷大学
	10月 8日 (月)	● 66 - 88	大阪外国語大学	〃
10月21日 (日)	● 76 - 84	大阪電気通信大学	兵庫県立大学神戸キャンパス	
バスケットボール部 (女子) 関西女子学生バスケットボール連盟 秋季リーグ戦 Ⅲ部3位	8月16日 (木)	○ 110 - 39	兵庫県立大学神戸	〃
	8月17日 (金)	○ 97 - 37	奈良大学	大谷大学
	8月19日 (日)	○ 120 - 41	大阪産業大学	京都府立大学
	8月20日 (月)	○ 104 - 62	花園大学	大谷大学
	8月23日 (木)	○ 141 - 28	大阪成蹊短期大学	大阪芸術大学
	8月25日 (土)	○ 94 - 52	追手門学院大学	京都精華大学
	8月26日 (日)	○ 74 - 63	大阪芸術大学	大阪芸術大学
	8月28日 (火)	○ 78 - 57	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学
	8月31日 (金)	○ 80 - 65	大阪外国語大学	大谷大学
	9月 1日 (土)	○ 94 - 53	兵庫教育大学	大阪芸術大学
	9月 5日 (水)	● 69 - 75	奈良教育大学	東大阪アリーナ
9月 6日 (木)	○ 62 - 51	奈良女子大学	〃	
関西女子学生バスケットボール連盟 秋季トーナメント大会 3回戦敗退	10月27日 (土)	○ 105 - 34	甲南大学	〃
	10月28日 (日)	○ 70 - 56	京都産業大学	〃
	11月 3日 (土)	● 41 - 67	大阪市立大学	龍谷大学
			神戸親和女子大学	甲南大学
			びわこ成蹊スポーツ大学	奈良文化女子短期大学

クラブ名	日程	結果	対戦校	会場
ソフトテニス部 (男子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦 V部Cブロック3位	9月23日 (日)	○ 3 - 2 ● 0 - 5 ● 0 - 5	流通科学大学 京都教育大学 兵庫県立大学西学舎	流通科学大学 〃 〃
ソフトテニス部 (女子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦 VI部Aブロック3位 VI部残留	9月22日 (土)	● 0 - 3 ● 0 - 3 ○ 2 - 1	奈良大学 大阪大谷大学 京都外国語大学	奈良大学 〃 〃
バレーボール部 (男子) 関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦 V部7位	9月23日 (日) 10月7日 (日) 10月8日 (月) 10月14日 (日) 10月21日 (日) 10月28日 (日) 11月4日 (日)	○ 3 - 1 ● 0 - 3 ● 0 - 3 ● 0 - 3 ● 0 - 3 ○ 3 - 1 ● 1 - 3	追手門学院大学 大阪工業大学 滋賀大学 大阪府立大学 関西外国語大学 兵庫県立大学 (姫路) 花園大学	大谷大学 兵庫県立大学 (姫路) 〃 〃 追手門学院大学 大谷大学 〃
バドミントン部 (男子) 関西学生バドミントン連盟秋季リーグ戦 VI部4位 VI部残留	9月8日 (土) 9月15日 (土) 10月6日 (土) 10月14日 (日)	● 2 - 3 ● 1 - 4 ○ 5 - 0 ○ 3 - 2 ● 2 - 3	追手門学院大学 大阪大学 奈良教育大学 大阪工業大学 兵庫大学	大谷大学 〃 〃 兵庫大学 〃
バドミントン部 (女子) 関西学生バドミントン連盟秋季リーグ戦 III部5位	9月8日 (土) 9月11日 (火) 9月15日 (土) 9月16日 (日) 9月18日 (火) 10月26日 (金)	● 2 - 3 ○ 4 - 1 ● 2 - 3 ● 1 - 4 ● 2 - 3 ○ 3 - 1	大阪国際大学 同志社大学 滋賀大学教育学部 大阪体育大学 大阪教育大学 大阪産業大学	大谷大学 〃 〃 大阪国際大学 大谷大学 東淀川体育館
ラクロス部 関西学生ラクロス秋季リーグ戦 III部Aブロック5位	8月22日 (水) 9月9日 (日) 9月16日 (日) 9月22日 (土)	● 2 - 15 ● 5 - 20 ● 7 - 8 ● 3 - 11	近畿大学 梅花女子大学 佛教大学 京都ノートルダム女子大学	京都大学農学部グラウンド 京都工芸繊維大学グラウンド 龍谷大学瀬田グラウンド 太陽ヶ丘球場
アメリカンフットボール部 関西学生アメリカンフットボール連盟 秋季リーグ戦 III部Cブロック4位	9月1日 (土) 9月16日 (日) 10月13日 (土) 10月27日 (土)	● 6 - 42 ● 13 - 54 △ 7 - 7 ● 6 - 41	京都学園大学 京都府立大学 京都薬科大学 佛教大学	宝ヶ池球場 〃 〃 大阪市長居球場

2007年度 秋季大会結果 一人成績

●卓球部 (女子)

<秋季 京都九大戦>

於 京都工芸繊維大学 (11月18日)

ダブルス

・優勝 岩田 政代

(文学部国際化学学科 第2学年)

佐藤 有夏

(文学部社会学科 第3学年)

●ソフトテニス部 (男子)

<京都学生ソフトテニス連盟 新進大会>

於 京都大学 (11月3日・4日)

ダブルス

・ベスト8 重元 俊昭

(文学部社会学科 第3学年)

中村 有誠

(文学部史学科 第2学年)

●陸上競技部

<京都スポーツ祭典陸上競技大会>

於 山城総合運動公園陸上競技場 (9月30日)

男子一般800m

・第3位 溝 渕 奨太

(文学部哲学科 第1学年)

●跆拳道部

<拳樹会オープン>

於 大阪中央体育館 (11月18日)

一般 男子上級フィン級

・準優勝 禿 孝宏

(文学部真宗学科 第4学年)

一般 男子中級ライト以上

・準優勝 吉田 広樹

(文学部社会学科 第2学年)

一般 男子初級ライト・ウェルター級

・第3位 山岸 巧

(文学部史学科 第2学年)

一般 男子初級バンタム・フェザー級

・優勝 永峯 隼人

(文学部社会学科 第1学年)

学問のしおり

1月になると、私は学生時代の「制作展」前の日々を思い出す。「制作展」は年度末の進級制作（卒業・修了制作）を発表する展覧会で、毎年2月の中頃、京都市美術館で開催されていた。展覧会直前の1月末ともなると、朝から晩まで大学の日本画制作室に籠って1日中絵を描く。それは、自分のためだけに時間を使えるという、今の生活からは考えられないような日々であった。

洛西・大枝の冬の朝は、息が白く感じられる程空気が冷たい。そのため1日の作業は、膠を温めることから始まる。（日本画の絵の具は、主に岩石を砕いたり土を精製して作られているので、今日の油絵の具や水彩絵の具の様に、絵の具自体に接着力はない。そのため和紙に絵の具を定着させる接着剤の役目をするのが膠である。）

一晩のうちに、ゼリーの様に固まった膠を電熱器にかけ、ゆっくりと温めながら今日の制作の手順を考える。膠が溶けて透き通った琥珀色の液体になった頃、絵の具と練り合わせて1日の作業の準備にか

かるのである。

私は、素材や技法への関心から日本画を専攻するようになった。古くから漆喰、木、麻、絹、和紙等、色々なものに描かれ、箔や胡粉の使い方にも時代を経てさまざまな工夫がされてきたこと、そして何よりも、絵の具の色の美しさとその原料に魅力を感じる。孔雀石を砕いて作られる緑青、土を水干して作られる黄土・岱赭・朱土、牡蠣の貝殻から作られる胡粉等、素材自体に歴史が感じられ、大切に使わなければとの思いが強くなる。日本画の絵の具は天然の素材をもとにしているため、基本となる色数は多くないが、絵の具の製造過程で粒子の大きさにより1つの色が10段階程に分けられている。粒子が細かい程、色は淡くなり、絵の具店の棚に並べられた絵の具瓶は、美しいグラデーションを描いている。また、土を原料とする黄土は各地に広く産出され、地域によって色調に幅がある。中でも灰味がかかった黄土色などは、中国のどこまでも続く広大な土の風景がイメージされ興味深い。



制作への思い

太田 智子

1・2回生の頃は、このような素材への関心から色々な素材を使って技法を試した時期でもあった。自分の求めている色が既成の絵の具だけでは表現できず悩んでいた時、大学の裏山の赤土や彫刻専攻の友人からもらった砂岩の粉末で絵の具作りを試みたが、その粒子の不均一さのため画面に定着できなかったという失敗もある。素材が自然のものであるため、このような表現上の制約も多く、決して扱いやすいものではない。3・4回生へと進むにつれ、このような性質の材料を使って、なぜ自分は日本画に拘って描いているのか、と考えるようになった。その頃、制作に行き詰まると、よく大学の図書館へ行き、画集や画論、作家のエッセイなどを手当たり次第に読んだ。その中で、筆で描かれた「線」の美しさに惹かれるようになった。日本絵画の歴史を辿ると、そこに描かれた線は、ものの形の輪郭線ではなく、写生＝ものを見ることを繰り返して得られる、ものの存在感を表している線であると感じた。それは、対象を知り尽くして体の中に染みこんだ形とし

ての線である。中には、実物よりも、もっと真に迫って語りかけてくる線もある。そこには対象への画家の眼差しが感じられる。

このようなことから、改めて日本絵画について勉強するようになり現在に至っている。

日本絵画の歴史において、各時代の画家たちは素材や技法や精神性を受け継いで、また、工夫を重ね制約を克服してさまざまな形式の作品を創造してきた。それらは、時には静かに時には強く人々にメッセージを伝え、それぞれの時代の生活や文化を豊かにしてきた。絵を描くことの意味を考えた時、このような、私たちの生活とは切り離せない部分がある。人との関わり、社会との関わりの中で、伝えたい思いを表現するには、そして線、色彩、空間にその思いを込めるには・・・。これからも日本画の素材と関わり、制作を通して考えていきたい。

（おた ともこ 講師 日本画）

年度末・年度始めの日程

2007年度末 後期試験 1月22日(火)～31日(木)	2008年度始め オリエンテーション開始 3月31日(月) 前期授業開始 4月8日(火)	聴講登録票提出期間 4月11日(金)・14日(月)・15日(火)
------------------------------------	--	-------------------------------------

教 務 部

修士論文・卒業論文の口述試問等の日程

2007年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に教務部掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月8日(火)	1月15日(火)～2月1日(金)
卒業論文	1月18日(金)	1月23日(水)～2月1日(金)

後期定期試験について

今年度後期試験は、1月22日(火)から1月31日(木)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月8日(火)に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった学生について、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認してください。)

1. 受験願受付期間
当該試験実施日から原則として1週間以内となります。

詳しい日程は、教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」で確認してください。

2. 追試験日

2月14日(木)・15日(金) (レポート提出締切日は2月14日(木)です。)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練 (文学部第4学年・短期大学部第2学年主対象)
第1班 2月2日(土)～2月8日(金)
第2班 2月14日(木)～2月20日(水)
第3班 3月3日(月)～3月9日(日)
第4班 3月10日(月)～3月16日(日)

前期修練
(短期大学部第1学年主対象)
3月22日(土)～3月28日(金)

教師補任式 (全学合同)
3月19日(水)に举行されます。式の時間等詳細は2月26日(火)に教務部掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格(教職・保育士・大谷派教師・学芸員・社会福祉士)単位修得合否の発表について

2月26日(火)午前10時に教務部掲示板にて発表します。卒業・修了予定者については大学ホームペー

ジ「学生向け情報提供システム」にも掲載します。各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月12日(水)午前10時に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表しますので各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

年度末の証明書発行について

3月24日(月)～3月31日(月)の期間は学年切替え作業のため証明書自動発行機は使用できません。必要な証明書は、各自で前もって発行しておいてください。

今年度卒業予定者の証明書の発行について

今年度卒業予定者で、卒業式当日に卒業証明書・成績証明書(後期の成績を含むもの)・資格取得証明書が必要な場合は、次の期間に申込みをしてください。

2月26日(火)～3月13日(木)

卒業式当日、卒業証書・学位記等とともにお渡しします。

※この期間後の申込みについては、卒業式の翌日以降の発行になります。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講することのできる「科目等履修生・聴講生」制度を実施しています。

在学中に資格課程の単位を未修得のまま卒業した場合等は、この制度によって必要な科目を履修することができます。

ただし、資格課程を履修希望の場合、出願資格・受講可能科目等に条件がありますので、早めに教務部窓口にて相談してください。

出願書類配付 2月下旬(予定)

出願期間 3月25日(火)～4月3日(木)

「小学校教諭一種免許状取得プログラム」出願書類配付及び出願説明会について

昨年度、神戸親和女子大学と協定を締結し、今年度より「小学校教諭一種免許状取得プログラム」をスタートしました。

このプログラムは、出願者の中から学内選考により履修許可者を決定するものです。次年度、本プログラム出願希望者は、「出願書類配付および出願説明会」を右記日程で開催しますので、必ず参加

してください。

なお、本プログラムは、中学校教諭一種免許状取得を前提としたものであり、小学校教諭一種免許状のみの取得はできませんのでご注意ください。

また、本学学費とは別に神戸親和女子大学通信教育部における科目等履修にかかる費用が必要となります。

●今後のスケジュール

3月中旬 出願書類配付・出願説明会

3月下旬 出願開始

4月上旬 出願締め切り・学内選考

4月中旬 履修許可者発表(費用振込)

※詳細は、決まり次第教職課程掲示板(至誠館1階)及び本学ホームページ「学生向け情報提供システム」でお知らせします。

学 生 課

学生証の返還及び更新について

3月18日(火)に卒業・修了される学生諸君は、卒業式当日に学生証を返還してください。ただし、学生証の有効期限は3月31日までですので、学割などを使用される方は後日返還(郵送可)してください。

在学生については、2008年度オリエンテーション期間に「在籍確

認シール」を配付します。受け取り後、直ちに学生証裏面のシールを貼り替えて有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない学生証は無効となります。

新年度オリエンテーションは、3月31日(月)～4月7日(月)の予定で

す。入学式(4月3日)前から始まりますので注意してください。詳細な日程は、3月中旬に保証人宛に郵送するほか、学内掲示板及び「学生向け情報提供システム」でお知らせします。

住所（帰省先・下宿住所）・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所(帰省先など)・現住所(下宿住所)・電話番号(携帯電話)などに変更が生じた場合は、速

やかに学生課で「学籍事項登録票(変更)」を受け取り、修正手続きをしてください。修正されていない

場合、大学からの重要かつ緊急の連絡ができずトラブルの原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の了承を得たうえで必ず学生課へ提出してください。

近年、海外では地震・台風等の自然災害や戦争・紛争等、不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックしたうえで慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分自身を守るため海外旅行保険に必ず加入してください。

厚生労働省検疫所ホームページ
(海外旅行者のための感染症情報)
<http://www.forth.go.jp/>
外務省海外安全ホームページ
<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、すぐに最寄りの保健所に相談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先

075-411-8120 (保健室)

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2007年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

日程：2008年3月18日(火)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育保育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	14時30分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配付	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館(詳細は後日)	1号館(詳細は後日)	2号館(詳細は後日)	

※証書等の配付方法について

講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さん1人ずつにお渡しいたします。

※お願い

卒業予定者の皆さんへ：

講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。式典のスムーズな進行にご協力ください。

在学生の皆さんへ：

講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配付をすぐに行いますので卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

来る3月18日(火)、本学を卒業・修了され、新たに同窓会員となられる皆さまを対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会が共催して、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催いたします。今年度は、京都全日空ホテルを会場に開催を予定しています。

当日は、多数の教職員にも出席いただき、また、サークルによるアトラクションも企画するなど、楽しい会となるように計画しています。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄弟の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

■日時 3月18日(火)

16:30~18:30

* 卒業証書・学位記授与式終了後

■会場 京都全日空ホテル

[交通機関]

地下鉄烏丸線「烏丸御池」下車
〔乗換〕地下鉄東西線「二条城前」下車すぐ

■立食パーティー形式

* 「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の案内状は卒業・修了通知書とともにお届けいたします。

なお、当日は各自で直接会場へご集合ください。

〈お願い〉

会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。



昨年の祝賀会風景

図書館

年度末の図書館利用について

2008年1月7日(月)からの図書館の開館予定は次のとおりです。

変更がある場合は、掲示、HPにてお知らせいたします。

期間	開館状況
1月7日(月) 1月14日(月祝)	■通常開館 (月)~(金) 9:00-19:30 (土) 10:00-17:30 (日・祝) 休館 ※1/11(金)は冬期休暇中の長期貸出返却期限です。
1月15日(火) 1月30日(水)	■後期定期試験対応延長開館 (月)~(金) 9:00-20:00 (土) 10:00-17:30 (日・祝) 休館
1月31日(木)	■通常開館 9:00-19:30
2月1日(金) 3月16日(日)	■短縮開館 (月)~(金) 10:00-17:30 (土・日・祝) 休館 ※2/4(月)~2/7(木)は一般入試[第1期]のため休館 ※3/7(金)は一般入試[第2期]のため休館 ◆3/6(木)は最終返却期限です。この日以降は、図書の出借はいたしません。館内閲覧のみです。

期間	開館状況
3月17日(月) 3月23日(日)	■短縮開館 (月)~(金) 13:00-17:00 (土・日・祝) 休館 ※ただし3/18(火)は卒業証書・学位授与式のため休館
3月24日(月) 3月30日(日)	■休館 館内整理のため休館
3月31日(月) 4月2日(水)	■未定 ※2008年度の開館日は未定です。決まり次第HPに記載いたします。
4月3日(木)	■休館 入学式

※入学式翌日から開館します。

貸出中の図書は、返却日までに必ず返却してください。

「ぶんぶんコーナー」をご存知ですか？

図書館1階閲覧室の「文芸・文庫本（略して“ぶんぶん”）コーナー」をご存知ですか？ これは今年度の夏期休暇中に設置されたもので、今では利用者からの人気コーナーのひとつになっています。

もともと本学の図書館は学術文献を中心に収蔵しているため、小説など気軽に読める資料をあまり所蔵していませんでした。そこで誕生した企画が、学生の意見を選書に直接反映させる「学生選書プロジェクト（略してSSPJ）」でした。SSPJのおかげで、それまで図書館には入らなかったような、小説やエッセイなど“読書を楽しむための本”が並ぶようになりました。

SSPJの本は利用者からの貸出率も高く、すぐに人気コーナー

となりました。すると、また別の利用者の声が聞こえてきます。SSPJの本は面白いのだけれど、もっと基本的な文芸作品も気軽に読めるようにしてほしい。

そんな要望にこたえて、国内の明治～現代までの文芸作品のうち基本と思われるものを図書館でセレクトし、それを手軽な文庫本で購入することになりました。夏目漱石や太宰治のようないわゆる文豪の作品から、山田詠美や綿矢りさのような現在活躍中の人気作家の作品まで、およそ350冊の文庫本をまず第一弾として揃えました。そしてこの新しいコーナーは「文芸・文庫本（略して“ぶんぶん”）コーナー」と名づけられることになりました。

ただ文庫本が並んでいるだけ

の地味なコーナーですが、今ではSSPJのコーナーに匹敵する貸出率で利用されています。最近の若者は本を読まなくなった…とよく言われますが、決してそんなことはありません。目の前に読みたい本があれば、やはり読んでみたくなるものです。

もともと読書が好きな方、そしてこれから本でも読んでみようかなと思っている方、気軽に図書館に立ち寄って“ぶんぶんコーナー”の文庫本を手にとってみてください。図書館は勉強をするだけの場所ではありません。のんびり読書に浸り、じっくり感性を磨くのも学生時代に与えられた特権なのです。

（図書・博物館課）

財 務 課

2008年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月21日(月)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月21日(月)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2008年3月31日に大学より一斉発送します。保証人住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

○2007年1月4日から、「本人確認手続に関する法令」の改正により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要となりました。(ATMでは、10万円を超える現金の振込みが

できません。ただし、現金ではなく預金口座を通じて振込みを行う場合は、ATM・窓口のいずれにおいても、これまでと同様の手順・方法で振込むことができます。)

○学費納入の際には、指定の振込用紙とともに、振込みの手続きを行う方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

2008年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	修士・博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
	修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	356,000

進路就職センター

進路就職センターは、就職や進学など、進路全般についての相談窓口です。相談や質問があれば、学年を問わず、進路就職センターに来てください。

また、進路就職センターでは以下のガイダンスなどを企画しています。詳細は、進路就職センターから発送されるDMや掲示、学生向け情報提供システムなどで確認してください。

就職支援企画

●面接対策実践講座 2009年3月卒業・修了予定者対象

採用試験において、面接はほとんどの企業で実施されています。面接対策は1人でできるものではありません。集団面接・個人面接の対策を行い、自信を持って採用試験に臨みましょう。

日 程：2月12日(火)・18日(月)・20日(水)・22日(金)・25日(月)・26日(火)
12時～16時30分

会 場：J103教室

申込期間：1月15日(火)～2月1日(金)

費 用：無料（いずれか1日を選択し、進路就職センター窓口
に申し込むこと。各日60人限定で先着順）

●就職ガイダンス 2009年3月卒業・修了予定者対象

会社説明会や企業セミナー参加などの就職活動がスタートします。就職活動にあたっての注意事項・応募書類などについて説明します。

日 程：2月13日(水) 10時～11時30分

会 場：1214教室

●学内「企業セミナー」 2009年3月卒業・修了予定者対象

学内で開催される合同企業セミナーで、2日間にわたり約50社の企業が参加します。これまで多くの学生が、このセミナーにより内定へと繋げています。実践的な就職活動の始まりともいえる学内「企業セミナー」に、ぜひ参加してください。

日 程：2月13日(水)・14日(木) 13時～16時30分

会 場：1号館 教室

*詳細は、進路就職センターの掲示板・学生向け情報提供システムにて確認してください。参加企業は1月中旬に発表します。

教員になるには、どうすればいいの？ ⑤ ～臨時教員の応募から採用まで～

臨時教員とは

今は、「授業力」「即戦力」などと、より実践的能力を持った人が採用に有利と言われていきます。残念ながら採用試験に合格できなかった人が、学校現場を経験するには臨時採用教員として働く道があります。一般に「臨時教員」「講師」と呼ばれている「臨時的任用教員」は、任用目的はさまざまで、年度途中の教員の病気休職や退職、学級増など教員の欠員が生じた場合などに臨時的に任用されます。採用期間は1年以内で、1ヶ月ということもあります。また、「常勤講師」「非常勤講師」と二つの採用方法に分けられています。

採用実績は？

臨時教員は、その性質上、あらかじめ採用予定者を見込むこ

とが困難で、基本的には応募者の大半は名簿登載者となっています。講師登録の手続きを済ませると講師名簿に名前が記載されます。京都市などのように、講師任用試験を12月上旬に実施し、12月中に合否結果が知らされますが、そのような選考試験を実施する自治体が出てきました。

さて、採用実績ですが、近府県の例を挙げますと、京都市約630名、大阪府 6,030名、堺市 634名、神戸市 約1,000名、(滋賀県、京都府、大阪市、兵庫県は未集計)となっています。

臨時教員から正規教員への道は？

臨時教員が正規教員になるには、もちろん採用選考を受験する必要があります。しかし、常勤講師などで学級担任を経験し

教職アドバイザー 長谷川 浩三

た人、あるいは6ヶ月以上の講師経験者には、選考内容の一部を免除した選考試験を実施している自治体もあります。

しかし、なによりも学校で生徒に接したいろいろな実践体験が貴重なものとなり、教員採用試験での集団面接や論作文で核心を突いた意見を述べることができた、という報告をたくさん聞いています。

ただし、臨時教員としての勤務振りが、実践力に優れた内容であるかどうか、いつも問われていることは言うまでもありません。大量採用時代とは言え、実践的な指導力をより一層重視される中で、臨時教員として実践力を磨き、優れた実践を行っていくことが、正規教員への道につながると確信しています。

(完)

GLOBAL SQUARE

GLOBAL SQUAREでは、留学相談や留学情報の提供、語学勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。各種イベントなどの詳細は、GLOBAL SQUAREのホームページや掲示板で確認してください。

URL : <http://web.otani.ac.jp/gs/>

■留学出発前オリエンテーション

2008年度前期の留学予定者を対象に留学出発前オリエンテーションを開催します。長期間、外国での生活を始める準備と対策を十分にして、実りのある留学を実現させましょう。

日 時：2008年1月下旬

*詳細は掲示・ホームページにてお知らせします。

場 所：GLOBAL SQUARE

内 容：◎入国の際の注意点

◎留学先到着後の手続き

◎留学中の安全対策

◎帰国後の手続き

■学生スタッフ募集

GLOBAL SQUAREイベントの企画・実施や留学生のサポートなどをやる学生スタッフを募集しています。国際交流や留学生との交流に興味のある人は、ぜひ参加し

てください。

■春休み中の開室時間について

春休み期間中(2月1日(金)～3月31日(月))は、開室時間を短縮し、12:30～17:30となります。4月1日(火)より平常開室いたします。

*詳細、変更(臨時閉室)は掲示板・ホームページにてお知らせします。

2008年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2008年度の文学部と短期大学の授業料のスライド率は、今年度同様0.00%とし、2007年度の授業料の額（795,000円）のまま据置とします。また、施設費も2007年度と同様、文学部真宗・仏教・哲学・社会・歴史学・文学・国際文化学科および短期大学部仏教科・文化学科は200,000円、文学部人文情報学科は350,000円、短期大学部幼児教育保育科は220,000円とします。なお、大学院の授業料も2007年度の額480,000円のまま据置とし、施設費も2007年度と同様、2006年4月以降入学者は200,000円、2006年3月以前入学者は120,000円です。

本学ではこれらの学生納付金を基盤として教育研究の充実のため、2007年度においても多様な事業を実施しています。

国際交流では、海外の大学における短期語学研修や、様々な国の文化理解を目的とした短期文化研修を実施し、

学生の皆さんが国際的な視野を深めることができるように努めています。今年度は英語・中国語の短期語学研修ならびにインド・中国・ヨーロッパ（フランス）の短期文化研修を実施しました。特に中国文化研修「中国の宗教と文化」は、今年度より新たに始まった科目で、日本仏教に大きな影響を与えた中国文化に触れ、中国と日本双方の宗教と文化理解を深めることができました。

また神戸親和女子大学と提携し、小学校教諭一種免許状取得プログラムを開始しました。これは、本学在学中に神戸親和女子大学通信教育部の科目等履修生として受講し、テキストによる通信教育およびスクーリングによって必要な単位を修得するものです。受講生は、現在神戸親和女子大学通信教育部の科目等履修生として、テキスト履修やスクーリング履修等に取り組んでいます。これらの学生に対して、教職支援センターではテキストや参考書等を揃え、単位修得のためのさまざまな支援を行っています。

また今年度からオフィスアワー制度

を導入しました。これは、学生の皆さんの履修相談や、授業や学生生活に関する相談に応じられるように、教員があらかじめ示した時間帯に研究室で待機している制度です。その時間帯であれば、学生は気軽に研究室を訪問することができます。

就職支援では、昨年から学生の皆さんのキャリア形成支援のために実施していたリレー講義やインターンシップを今年度から正課の授業として開講しています。それに加え、キャリアアドバイザーを1名増員し2名体制とし、アドバイザーによる相談を毎日実施するなど、学生の皆さんの進路就職支援の一層の充実に努めています。

本学に在籍する学生の皆さんが、キャンパスの中でさまざまなく学びとく出会いを通して、真に人間として身につけてはならない智慧を得ていただくよう、今後もより一層教育研究の拡充をはかり、充実した学生生活が過ごせるようにキャンパス環境を整備してまいります。皆さまのご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

（大谷大学・大谷大学短期大学部）

(A) 文学部

(年額)

学費	学科	真宗・仏教・哲学・社会・歴史学・文学・国際文化学科	人文情報学科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	350,000
合計		995,000	1,145,000

(2008年度入学者は入学金200,000円が必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学費	学科	仏教科・文化学科	幼児教育保育科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	220,000
合計		995,000	1,015,000

(2008年度入学者は入学金200,000円が必要)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学費	課程	修士課程	博士後期課程
授業料		480,000	480,000
施設費		200,000	200,000
合計		680,000	680,000

(2008年度入学者は入学金200,000円が必要)

(2006年3月以前の入学者の施設費は120,000円)

谷大エリア散策

第30回 ユリヤ商会さん（額縁と切手・玩具の店）

烏丸北大路東入北側の玩具店「ユリヤ商会」の中根直美さんにお話を伺いました。奥様と、店主であるお兄さんとともにお店を営しておられます。お店の表にも中にも懐かしの玩具が所狭しと並んでいて、タイムスリップしたような不思議な雰囲気のお店です。



店主の中根正美さん

—お店を始められたのはいつ頃ですか

私の父は日本画家でした。絵を描くだけでは食べていくのが難しいものですから、昭和4年にこの場所で、絵と額縁と、趣味で集めていた切手を扱う店を出しました。当時、切手を販売する店は京都では他になく、うちが最も古いと言えるのではないのでしょうか。近畿でも最初の方だと思います。玩具を扱うようになったのは戦後からです。

—「ユリヤ商会」という店名の由来を教えてください

開店当時、額縁屋というのは京都でも3～4軒ほどしかありませんでしたが、皆なぜか店名に植物の名前をつけていたそうです。例えばアオイヤとかモミジヤというように。

それでうちも百合の花からユリヤと名付けました。



店内の様子

—店内は懐かしの玩具がいっぱい

ですね

うちはご覧の通りのアナログな玩具ばかりで、今時の電子ゲームなどは置いていないものですから、お子さんにはつまらないでしょう。大人のお客さんが懐かしんで買ってくださいます。それから大谷大学をはじめ近隣の大学の学生さんたちが、学園祭の時期になると、花火やイベント用のゴム風船やヨーヨー、景品用の玩具を買いに来てくださいます。学生さんにはこうした玩具がかえって面白いのでしょうかね。その他には主に将棋やチェス、バックギャモンといった室内ゲームの類を置いていますが、玩具だけではとてもやっていけませんよ。

—レトロな玩具はブームにもなりましたが、熱心なファンが来られませんか

TV番組でブームになる前、今から20年くらい前でしょうか、その頃にはわざわざ関東地方から車で買いに来られるお客さんもおられました。その時代にはいい商品が結構あったんですよ。今は残念ながら、そんなに値打ちのある品は残っていませんね。先日もNHKと関西テレビが取材に来られましたし、メディアの取材を受けることはしばしばありますよ。

—珍しい切手がたくさんあって、見ているだけで楽しいですね

切手を扱っているのは兄の正美です。もう80歳を超えていますけれども切手の仕事は続けています。兄弟ともに女性と間違われそうな名前ですが、画家だった父が「美」という字をこだわって付けたのだと思います。

数十年前には切手は貴重な趣味の品で、買うために行列になるこ

とは珍しくありませんでしたが、今はすっかり様子が変わりました。実は本当に値打ちがあるのは昔のものだけで、カラーの美しい切手は最近のもので、あまり名前を聞かないような小さな国でも切手をよく発行するようになりました。おそらく美しい切手はよく売れるからですね。

—切手を買われたお客さんに文庫本をプレゼントされているとお聞きしました

兄が自分が読み終えた本を、切手を買われた方に差し上げているのです。昔から、学生さんにもっと本を読んでもらいたいと思って続けていることなんです。



扱っているたくさん切手

—昔の北大路あたりの様子をお聞かせください

昭和2年に北大路通のここより少し東側（三星堂さんのあたり）にお店が数軒できましたが、それでもこのあたりはまだ畑だったそうです。昭和4年にうちを含む数軒が建ち、その後少しずつ店が立ち並ぶようになりましたが、商店街と呼ばれるようになるのはもっと後になってからですね。

—ありがとうございました



お店の外観

写真でふりかえる 大谷大学今昔



校旗・旗頭にみえる「抱葉牡丹二大ノ字」紋



「枝抱牡丹二篆書「大學」字」
徽章を角帽に付けた大谷大生（一
九三五（昭和一〇）年頃撮影）



「枝抱牡丹二篆書「大學」字」徽章を
付けたキティちゃん

校章

東館 紹見

二〇〇一（平成十三年）年、大谷大学は、近代化百周年を記念し新しいロゴマークを発表した（表紙参照）。デザインのコンセプトは、大学のシンボル・尋源館の尖塔と「目覚める人」。人間を大切にしてきた大学の学風が表現されている。大学の出版物等でも近年はこちらの使用が増えているようだが、今回は、以前から親しまれてきた校章についてふりかえてみよう。

大学の校章は、牡丹の葉を六枚組み合わせ、中央に篆書体の「大」の字を配したもので、正式な名称を「抱葉牡丹二大ノ字」紋という。入学式や卒業式に講堂と門に掲げられる校旗をはじめ、クラブの旗、尋源館正面の標章などで見おぼえのある人もいるだろう。

抱葉牡丹という図柄は、大学の経営母体である真宗大谷派の抱牡丹紋に由来するもので、一八九九（明治三二）年の初見以来、大谷派の学事を象徴する紋章として様々な場で広く用いられている。本学では、真宗大学として東京に移転開学した一九〇一（明治三四）年、これに「大」の字を加えて用い始めた。

一方、これとは別に、かつての学生には欠かせない存在だった制帽に付される徽章があった。こちらは、大学の名称や組織が変遷するごとに、その姿を変えている。

一九〇一年 真宗大学（私立学校令・専門学校令による大学） 篆書「真大」字

一九一一年 真宗大谷大学（真宗大学と高倉大学寮を統合。翌々年、現在地へ移転）

枝抱牡丹二篆書「大學」字

一九二四年 大谷大学（大学令による大学 旧制大学）

文学部 同前、予科 菩提樹三葉章（現在の 大谷中・高等学校の校章）、

専門部 枝抱牡丹二「専」字

中でも一九一一（明治四四）年制定の「枝抱牡丹二篆書「大學」字」章は、戦後新制大学となつてからも長く使用され、懐かしむ同窓生も多い。今年度発売された携帯ストラップで、キティちゃんの制帽に付けているのもこれである。しかし制帽が次第に用いられなくなったことや、元々の使用が文学部に限られるものだったことなどから、一九六〇年代の半ば頃からは、「抱葉牡丹二大ノ字」紋の方が、大学の紋章として多く用いられるようになった。

校章・徽章の由来をたずねながら、それぞれが用いられた時代の大学の様子や先輩たちの姿に思いをはせてみるのも、また楽しいことではなからうか。

（ひがしだて しょうけん 講師 日本仏教史（古代・中世）

学生相談室から

20代のころに感じたこと



私は20代のころ、障害児児童保育に参加しており、知的障害を抱えた子どもたちと一緒に遊んでいました。ある日、男性指導員のAさんと、ある中学生のB君が大ゲンカになったことがあります。お互い言いたいことが伝わらず、言い合いになることは時々起るのですが、さらにこのときは大柄なB君がAさんを殴り始めました。たまたま横にいた私は止めに入ったのですが、Aさんは「2人の問題だから、中途半端に止めないでくれ!」と、強く言いました。2人は、「なんや!」「言いたいことあるなら言ってみろ!」と怒鳴り合いながら、白熱したやりとりを続けましたが、しばらくして、肩を抱くようにして戻ってきました。

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	谷口 奈青理 神田 敬子	10時30分～16時00分
	火曜日	西澤 伸太郎	10時30分～16時00分
	水曜日	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時00分～16時00分
	木曜日	譲 西賢	10時30分～16時00分
	金曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分

中途半端に止めるのが一番よくないと思うと振り返りました。今でも、殴るといふやり取りに賛同できないものを感じますが、一方で彼の言葉やそのやり取りに、胸打たれもしました。暴力はダメ、と言ふことはできますが、自分の人生において何をどう位置づけるのか、今でもいろいろ考えさせられるエピソードです。

(にしざわ しんたろう)

西澤 伸太郎

『大谷大学広報』2007秋号の訂正について

20頁「学問のしおり」、42頁「出版物紹介」に誤りがありましたので訂正いたします。

【学問のしおり】

【出版物紹介】

- 『人権センター叢書 vol.4』
- 『人権センター叢書 vol.5』

<誤>

智顛ちえんの放生

『日中両国の視点から語る 植民地満州の宗教』

- 大谷大学教職支援センター 編・刊
- 大谷大学教職支援センター 編・刊

<正>

智顛ちえんの放生

『日中両国の視点から語る 植民地期満洲の宗教』

- 大谷大学人権センター 編・刊
- 大谷大学人権センター 編・刊

「大谷大学広報08-春」発行のお知らせ

「大谷大学広報08-春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。

広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティエ (博綜館入口横) ②至誠館 (学生課カウンター前) ③響流館 (教育研究支援課カウンター横)
- ④学内食堂 ⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

研究室だより

総合研究室から

2008年1月から3月までの総合研究室内の開室時間は以下のとおりです。

後期定期試験、卒業式等により開室時間が変則的になっていますので、注意してください。

なお、開室日や開室時間の変更は、ホームページ・学内掲示板でお知らせします。ご確認ください。

1月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7 ^{※1}	8	9	10	11
	12	13	14	15 ^{※2}	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4 ^{※3}	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	

3月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6 ^{※4}	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17 ^{※5}	18	19	20	21	22
	23	24	25	26 ^{※6}	27	28	29
	30	31					

- 黒字は、響流館の休館日
- Ⓚは、9時開室 19時30分閉室
- Ⓛは、10時開室 17時30分閉室
- Ⓝは、9時開室 20時30分閉室
- Ⓜは、9時開室 18時開室

- ※1 1月7日(月)～9日(水)は卒論提出最終日直前のため、閉室時間を20時30分までに延長します。
- ※2 後期定期試験開始1週間前となる1月15日(火)から定期試験終了前日である30日(水)までの平日(Ⓝ)は、閉室時間を20時30分までに延長します。
- ※3 2月4日(月)～7日(木)は一般入試(第1期)のため、閉室します。
- ※4 3月7日(金)は一般入試(第2期)のため、閉室します。
- ※5 3月18日(火)は卒業式のため、15時に閉室の予定です。祝賀会等の開催により変更することがあります。
- ※6 3月27日(水)は、総合研究室図書整理日により、閉室します。

仏教科研究室から

○3月中旬に『仏教研究紀要』第30号の発刊を予定しております。ご希望の方は、仏教科研究室までご連絡ください。

幼児教育保育科研究室から

○「卒業研究発表会」を1月9日(水)16時10分～19時20分(第5・6時限)に開催します。授業の一環として行いますので、第1・第2学年ともに必ず全員出席してください。会場は響流館3階のメディアホールです。詳細については、2号館1階の幼児教育保育科専用掲示板及び教員からお知らせします。

○『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究紀要』第9号を3月上旬に発刊します。幼児教育保育科第2学年には卒業式当日に、第1学年には次年度のオリエンテーションのときに、配布します。

○3月中旬に、今年度の第2学年が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究』第41号として

発刊します。第2学年には卒業式当日に、第1学年には次年度のオリエンテーションのときに配布します。

○現在、幼児教育保育科一般研究室の図書を借りている方は、1月15日(火)までに必ず返却してください。

学会だより

仏教学会

卒業論文梗概発表会 並びに送別懇談会

開催日 1月18日(金) 16時10分から

場 所 尋源講堂・学生食堂

卒業論文を提出された皆さんに、力作の内容を発表していただきます。終了後、記念撮影をし、送別懇談会を開催します。

白館戒雲教授最終講義

開催日 2月21日(木)

詳細が決まり次第お知らせします。

哲学会

冬季研究会

開催日 2月13日(水) 16時10分から

詳細が決まり次第お知らせします。

出版物紹介

『紛争後社会と向き合う

—南アフリカ真実和解委員会』

阿部利洋 著

京都大学学術出版会 刊

(2007.12) 384頁



『『唯信鈔』講義』

安富信哉 著

大法輪閣 刊

(2007.12) 262頁



『光華叢書4 仏教思想の奔流

—インドから中国・東南アジアへ—』

木村宣彰・早島理・

太田清史 著

京都光華女子大学・

真宗文化研究所 編

自照社 刊

(2007.3) 328頁

『鉄道 関西近代のマトリクス』

日本近代文学会関西支部 編

天野勝重 分担執筆

和泉書院 刊

(2007.11) 64頁

『保育心理—保育シリーズⅠ—』

牧田桂一・山田真理子・

大谷保育協会 編

佐賀枝夏文 分担執筆

樹心社 刊

(2007.11) 241頁

『エチオピアを知るための50章』

岡倉登志 編

古川哲史 分担執筆

明石書店 刊

(2007.12) 384頁

2008年度 自己推薦入試結果

学 部	学 科	募集人員	第1次審査 (書類選考)		第2次審査 (面接)		倍率	合格者得点	
			志願者数	合格者数	受験者数	合格者数		最高点	最低点
文 学 部	真 宗 学 科	10	30 (7)	30 (7)	29 (7)	25 (6)	1.2	130	80
	仏 教 学 科	10	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	1.0	123	87
	哲 学 学 科	10	15 (8)	14 (8)	14 (8)	13 (8)	1.2	110	75
	社 会 学 科	10	32 (9)	23 (7)	22 (7)	13 (4)	2.5	127	82
	歴 史 学 科	10	26 (8)	24 (8)	24 (8)	17 (8)	1.5	137	101
	文 学 学 科	10	20 (11)	20 (11)	20 (11)	14 (9)	1.4	142	107
	国際文化学科	10	13 (7)	13 (7)	13 (7)	12 (7)	1.1	125	100
	人文情報学科	10	17 (6)	17 (6)	15 (6)	13 (6)	1.3	140	95
合 計	80	165 (59)	153 (57)	149 (57)	119 (51)	—	—	—	
短期大学部	仏 教 科	10	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	1.0	140	100
	文 化 学 科	10	8 (6)	8 (6)	8 (6)	8 (6)	1.0	142	105
	幼児教育保育科	10	59 (50)	59 (50)	59 (50)	15 (14)	3.9	143	124
	合 計	30	75 (58)	75 (58)	75 (58)	31 (22)	—	—	—
總 計	110	240 (117)	228 (115)	224 (115)	150 (73)	—	—	—	

[注1] ()内数字は女子内数。 [注2] 得点は150点満点。

2008年度 文学部第3学年社会人編入学試験結果

学科	コース	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真 宗 学 科	真 宗 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
仏 教 学 科	仏 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
哲 学 学 科	西 洋 哲 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫 理 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	教 育 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
社 会 学 科	現 代 社 会 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	文 化 人 類 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
史 学 学 科	国 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	日 本 仏 教 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東 洋 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東 洋 仏 教 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
文 学 学 科	国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	英 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	ド イ ツ 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国際文化学科	国 際 文 化 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合 計		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
		計	1 (1)	1 (1)	1 (1)	

[注1] ()内数字は女子内数。

2008年度 大学院秋季試験(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	定員(20)の50%程度	本学	15 (1)	15 (1)	11 (1)	1.5
			他大学	8 (0)	8 (0)	4 (0)	
	仏教学	定員(20)の50%程度	本学	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0
			他大学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	哲学	定員(10)の50%程度	本学	3 (1)	3 (1)	1 (0)	3.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学	定員(10)の50%程度	本学	4 (1)	4 (1)	2 (1)	2.0
			他大学	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本学	5 (3)	5 (3)	4 (3)	1.3
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化	定員(10)の50%程度	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	定員(90)の50%程度	本学	29 (6)	29 (6)	20 (5)	—	
		他大学	11 (1)	10 (1)	6 (1)		
		計	40 (7)	39 (7)	26 (6)		

[注] ()内数字は女子内数。

2008年度 大学院社会人入試(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	若干名	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	仏教学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	哲学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	社会学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	仏教文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他大学	4 (2)	4 (2)	4 (2)		
		計	4 (2)	4 (2)	4 (2)		

[注] ()内数字は女子内数。

2008年度 公募制推薦入試結果

学部	方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
								最高点	最低点
文学部	A方式	真宗学科	10	13 (2)	12 (2)	10 (2)	1.2	128	85
		仏教学科	8	10 (0)	9 (0)	8 (0)	1.1	106	71
		哲学科	10	13 (3)	13 (3)	10 (2)	1.3	124	98
		社会学科	20	52 (23)	50 (22)	34 (18)	1.5	130	91
		歴史学科	10	30 (12)	30 (12)	10 (7)	3.0	133	111
		文学科	10	26 (17)	26 (17)	10 (7)	2.6	123	113
		国際文化学科	10	21 (13)	21 (13)	18 (11)	1.2	114	85
		人文情報学科	10	18 (4)	18 (4)	16 (4)	1.1	112	81
	合計	88	183 (74)	179 (73)	116 (51)	—	—	—	
	B方式	真宗学科	10	18 (6)	18 (6)	16 (6)	1.1	117	73
		仏教学科	8	13 (3)	13 (3)	12 (3)	1.1	123	73
		哲学科	10	37 (10)	37 (10)	33 (10)	1.1	128	77
		社会学科	20	134 (66)	131 (64)	77 (39)	1.7	125	92
		歴史学科	10	121 (33)	120 (33)	28 (6)	4.3	141	113
文学科		10	83 (42)	80 (41)	24 (16)	3.3	135	109	
国際文化学科		10	70 (36)	68 (35)	59 (32)	1.2	132	77	
人文情報学科	10	68 (14)	67 (14)	45 (11)	1.5	112	80		
合計	88	544 (210)	534 (206)	294 (123)	—	—	—		
文学部合計			176	727 (284)	713 (279)	410 (174)	—	—	—
短期大学部	A方式	仏教科	10	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0	103	89
		文化学科	10	12 (10)	12 (10)	11 (9)	1.1	114	69
		幼児教育保育科	15	54 (46)	51 (43)	21 (18)	2.4	126	100
		合計	35	68 (57)	65 (54)	34 (28)	—	—	—
	B方式	仏教科	10	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	97	97
		文化学科	10	18 (14)	15 (12)	14 (11)	1.1	119	68
		幼児教育保育科	15	77 (60)	72 (55)	29 (26)	2.5	132	108
合計	35	96 (74)	88 (67)	44 (37)	—	—	—		
短期大学部合計			70	164 (131)	153 (121)	78 (65)	—	—	—
総計			246	891 (415)	866 (400)	488 (239)	—	—	—

[注1] ()内数字は女子内数。

[注2] 得点は150点満点。

大谷中学・高等学校からのお知らせ

大谷中学・高等学校オープンキャンパス・学校説明会、大盛況!!

9月29日(土) 午前の部——大谷中学校の学校・授業見学会を実施
来校小学生は、78名
(保護者を含めると、約180名が来校)
例年とほぼ同数の来校者数で、本校教職員が対応しました。

午後の部——大谷高等学校のオープンキャンパスを実施
来校中学生は、456名
(保護者を含めると、約700名が来校)
例年は、平均250名前後の来校でした。
来校中学生・保護者への対応は、本校生徒会役員とクラスからの有志や各クラブ員が行い、オープンキャンパスを盛り上げてくれました。また、本校の生徒たちの熱意にうたれて、教員の中からもグループが結成され、バンド演奏や歌やダンスを披露する催しがあり、中学生歓迎ムードが大いに盛り上がりました。来校した中学生諸君に感想を聞いてみたところ、「大変楽しかった」と話してくれました。

11月17日(土) 午前の部——大谷高等学校の学校・授業見学会を実施
来校中学生は、588名
(保護者を含めると、約1,000名が来校)
例年は、平均270名前後の来校でした。
例年なみの来校者数と考えると、本校教職員が受け付けや誘導、学校案内を担当しましたが、予想外の来校者となり、中学部の先生方まで動員して対応しましたが、来校していただいた中学生や保護者の方々に、ご迷惑をかけたしまいました。

午後の部——大谷中学校のオープンキャンパスを実施
来校小学生は、147名
(保護者を含めると、約350名ぐらい)
例年の約2倍の来校者数です。
中学オープンキャンパスは、中学部教職員と中学生徒会や各クラブ員・生徒有志などで、受け付けや誘導・歓迎会を行いました。来校者数を例年なみと予想していたところ、その倍の来校者であったため、嬉しい反面大変慌しい状況でした。

12月9日(日) 午前の部——中学入試説明会来校小学生は125組
午後の部——高校入試説明会来校中学生は571組

クラブ活動結果報告

水球部——京都府高校選手権大会(第2位)、
関西選手権大会(第3位)

吹奏楽(高校)——全国吹奏楽コンクール京都府予選(金賞一初受賞)
マーチングバンド関西大会(銀賞)

男子バレーボール部
男子バスケットボール部——全国総合体育大会京都府予選(ベスト8)

吹奏学部——京都府コンクール小編成の部(金賞)、
(中学) 小編成の部関西大会(優秀賞)

科学部——(中学3年生の井上昂君が日本進化学会の高校生部門に特別出場し最優秀賞を受賞)
(文部科学大臣賞受賞)

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆2008年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
一般入試A 社会人4次 長期履修2次	1月21日(月) ＼ 1月30日(水)	2月2日(土)
一般入試B 社会人5次 長期履修3次	2月18日(月) ＼ 2月27日(水)	3月4日(火)
一般入試C 社会人6次 長期履修4次	3月14日(金) ＼ 3月24日(月)	3月26日(水)

※専攻科・福祉専攻入試もごさいます。
※長期履修学生制度については広報室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
九州大谷短期大学広報室(TEL0942-53-9900)

◆「大谷派教師資格試験検定」準備学習会のご案内

大谷派教師資格試験検定受検のために
真宗の教えを基礎から系統的に学ぶために

- 1.会場/本学生涯学習センター
- 2.開設期間/2月12日(火)~2月21日(木)
※16日(土)・17日(日)は休講
- 3.講義科目/①真宗学 ②仏教学 ③教化学
④声明作法 ⑤法規
- 4.受講希望受付/1月18日(金)まで
- 5.受講手続期限/1月31日(木)まで

事前に申込み連絡をしていただいた上での願書提出・
受講料納付の期限となっております。

お問い合わせ
九州大谷短期大学総務課(TEL 0942-53-9900)

2007年度後期生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

開放セミナー 大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—

「大乘仏教の礎—龍樹—」

—概要—

積尊は、経典（楞伽経）において、後の世に、龍樹という菩薩があらわれ、無上の大乘の法を説くだろうと予言しました。また親鸞はそれを受け、龍樹菩薩こそが、迷える一切衆生を救う積尊の教えを、広く世の中に伝えた方だと言います。龍樹とは、いったいどのような人だったのでしょうか。

龍樹は、2世紀後半から3世紀にかけて南インドで教えを説いたと言われています。『中論』や『大智度論』、そして『十住毘婆沙論』などの著作を残しました。特に『十住毘婆沙論』は、親鸞が「真宗」を明らかにするより所となったものです。

今回は、龍樹の人物像、著作、思想を学び、またそこに親鸞が何をみたのかを共に考えていきたいと思えます。

—講座内容—

- ①龍樹の生涯と著作（1）
- ②龍樹の生涯と著作（2）
- ③龍樹と大乘経典 —空—
- ④龍樹と大乘経典 —浄土—
- ⑤親鸞と龍樹 —難行道と易行道—
- ⑥親鸞と龍樹 —本願憶念の人—

講 師：兵藤一夫（大谷大学教授）／宮下晴輝（大谷大学教授）／木越康（大谷大学准教授）

開 講 日：2008年2月13・20・27・3月5・12・19日（水曜日）

時 間：18：00～19：30

定 員：100名

会 場：メディアホール

受 講 料：6,000円（税込）

申込締切：2月6日(水) 当日消印有効



「南アフリカにおける真実と和解」

—概要—

同時代の国際社会には紛争地が多くあります。通常ニュースで目にするのは紛争状況のレポートですが、その後の復興についてはどうでしょうか。

近年、常設の国際刑事裁判所とともに、紛争終結・復興をすすめる組織として注目を集めつつあるのが真実委員会です。裁決と補償を通じた過去処理とは異なり、膨大な証言聴取と公開フォーラムを通じた真実と和解を掲げることで、紛争の解決を図ろうとするのです。

この講座では、真実委員会が国際的に認知されるきっかけとなった南アフリカのケースを取り上げながら、紛争後社会の和解について考えてみたいと思います。

—講座内容—

- | | |
|----------------|----------------------|
| ①「アパルトヘイト下の社会」 | 講 師：阿部利洋（大谷大学講師） |
| ②「真実和解委員会」 | 開 講 日：2月12・19・26日(火) |
| ③「紛争後社会の和解とは」 | 時 間：14：00～15：30 |
| | 定 員：100名 |
| | 会 場：メディアホール |
| | 受 講 料：3,000円（税込） |
| | 申込締切：2月5日(火) 当日消印有効 |

「自然と文学—自然詩人ワーズワスの世界—」

—概要—

「自然」は、日本では万葉の昔から文学・芸術のテーマとして大切に扱われてきました。一方、西欧で「自然」が登場するのは18世紀も後半になってからです。この1,000年以上の遅れは何を意味するのでしょうか。ロマン派に至るまでの歴史的経緯をたどりながら、イギリスの自然詩人ワーズワスを例にして、詩文学の中の「自然」の意味を考えます。また、日本の詩歌に見る自然観と比較しつつ、現代における自然の大切さを考え直してみることができたらと思います。

—講座内容—

- | | |
|-----------------------|--|
| ①「自然と宗教・文学」 | |
| ②「ワーズワスとその時代」 | |
| ③「ワーズワスの自然詩」 | |
| 講 師：宮川清司（大谷大学教授） | |
| 開 講 日：2月19・26・3月4日(火) | |
| 時 間：18：00～19：30 | |
| 定 員：100名 | |
| 会 場：メディアホール | |
| 受 講 料：3,000円（税込） | |
| 申込締切：2月13日(水) 当日消印有効 | |



※次年度の講座案内を希望の方は、教育研究支援課までお問合せください。

講座案内は3月中旬に発行予定です。

また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、

①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号 を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係

TEL 075-411-8161 FAX 075-411-8162 Eメール opensemi@sec.otani.ac.jp

窓口開室時間／平日9：00～17：00

※日程など変更になる場合があります。その旨ご了承くださいませようお願いします。

2008年度学年暦

【前期】													【後期】																											
日		月		火		水		木		金		土		日		月		火		水		木		金		土		行事予定等												
4月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		4月 1日(火) ◇学年始 ◇宗祖誕生日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		3月 31日(月) } ◇オリエンテーション(若葉祭を含む)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		4月 7日(月) } ◇入学式													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		3日(木) ◇前期授業開始													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		8日(火) ◇釈尊降誕日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		11日(金) ◇聴講登録票提出期間[~15日(火)]													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		21日(月) ◇前期学費納入最終日													
5月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		24日(木) ◇宗祖御命日勤行・講話													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		28日(月) } ◇聴講登録確認票配付													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		30日(水) } ◇聴講登録確認期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		29日(火) ◇昭和の日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		5月 3日(土) ◇憲法記念日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		4日(日) ◇みどりの日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		5日(月) ◇こどもの日													
6月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		6日(火) ◇振替休日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		17日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		22日(木) } ◇履修辞退期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		23日(金) } ◇履修辞退期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		28日(水) ◇宗祖御命日勤行・講話													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇「研究計画書」提出最終日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		30日(金) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」提出最終日(前期卒業・修了予定者)													
7月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		31日(土) ◇宗祖誕生会													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		6月 14日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		27日(金) ◇宗祖御命日勤行・講話													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		28日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		30日(月) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」提出最終日(前期卒業・修了予定者)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)													
8月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		7月 12日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		21日(月) ◇海の日=授業実施													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		23日(水) } ◇前期定期試験													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		8月 1日(金) } ◇前期定期試験													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		7月 28日(月) ◇宗祖御命日勤行													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		8月 2日(土) } ◇夏期休暇													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		9月 17日(水) } ◇集中講義期間													
9月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1日(月) } ◇集中講義期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		12日(金) } ◇集中講義期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		15日(月) ◇敬老の日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		18日(木) ◇後期授業開始(月曜日の授業実施)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇前期履修単位通知書配付													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		23日(火) ◇秋分の日=授業実施													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		24日(水) ◇宗祖御命日勤行・講話													
10月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		24日(水) } ◇登録修正期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		26日(金) } ◇登録修正期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		30日(火) ◇前期卒業証書・学位記授与式													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇前期終了													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇後期学費納入最終日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		10月 6日(月) } ◇聴講登録確認票配付													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		8日(水) } ◇修正登録確認期間													
11月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13日(月) ◇体育の日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇開学記念日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		28日(火) ◇宗祖御命日勤行・講話													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		30日(木) } ◇履修辞退期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		31日(金) } ◇履修辞退期間													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		31日(金) ◇「卒業研究」提出最終日(仏教科・文化学科)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		11月 3日(月) ◇文化の日=授業実施													
12月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		7日(金) } ◇学園祭期間(予定)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		10日(月) } ◇学園祭期間(予定)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		22日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		23日(日) ◇勤労感謝の日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		24日(月) ◇振替休日=授業実施													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		27日(木) ◇大学報恩講(午後授業実施)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		28日(金) ◇宗祖御正忌													
1月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		12月 1日(月) ◇「卒業研究」提出最終日(幼児教育保育科)													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		6日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		10日(水) ◇「修士論文」提出最終日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		20日(土) ◇補講日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		23日(火) ◇天皇誕生日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		24日(水) } ◇冬期休暇													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1月 6日(火) } ◇冬期休暇													
2月	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		12月 26日(金) ◇宗祖御命日勤行													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1月 1日(木) ◇元日													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		7日(水) ◇修正会													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		◇授業再開													
	31		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10																			

飛行機の操縦室に入って一番驚いたことは、「御守」が天井近くに貼ってあることであったが、その時に抱いた複雑な思いは暫く措く。筆者は飛行機があまり性に合わず、搭乗経験は10回に満たないが、毎回感ずることがある。整備士であろうか、必ず五指に余る方々が離陸の際手を振って見送って下されるのである。「無事に行け！」という祈りの如き見送りと、「御守」の間にどれほどの懸隔があるだろうか。

路線バスにも昔、運転席の右上天井近くに「御守」がついていた。現在は経営主体によってさまざまであるが、つけなくなったバスでそれとなく聞いてみると、「運転手がみんな

自分で持ってます」とのことであった。

過ぎしある夜、居酒屋で例の如く気心の知れた友人と飲み始めたところ、隣に已にかなり盛り上がっている一団がいた。会話の端々から土木の仕事をしておられる仲間であると知れた。早く始まっていたので当方より仕舞が早く、お茶漬けとなったが、そのお茶漬けが変わっていた。先にお茶を椀に注いでその中に飯を入れるのである。思わず無礼を承知で「何故ですか？」とお尋ねした。「飯に茶かけたら崖崩れや」。「ならば、お茶の中に御飯入れるのはいいんですか？」「これは埋め立てやかからええのや」。

すべて一瞬一瞬に命がかかっていることが目に見える仕事である。危険な仕事ほど、しきたりやならわしは多い。笑いとばすことができようか。この身におこった時私がどう動くかは、おこってみないとわからない。人は弱いものである。

今も昔も、人の弱さを人に弱さと感じさせることなく、世にはびこり続けてきたのが、八掛・占い・予言の類である。「銀座の父」、「新宿の母」（いずれも仮名）、あるいは根強い血液型、動物、星座と、全く本質の同じものが、装いだけを変えて出現してくる。占師は時に「よくあたる」と評判になり、長蛇の列ができることがある。

話題の広場 SQUARE

無礼であろうが！ —— 占いとコンピュータ ——

沙加戸 弘



絵 内山智廣

話は飛ぶがその昔、「学者犬」という見世物があった。近時でも時折テレビのペット特集などで御目にかかる。加減乗除のできる犬、というのがふれこみで、数式の書いてある札を見せるか読み上げるかすると正答の数だけ吠える、という犬である。しかし、所詮犬は犬、犬にできるのは飼主の顔色を見ることだけであって、学者犬ではなく飼主の意を迎えるに敏な犬、というのが正しい。飼主の顔色を見て吠えるのをやめるだけである。ただし、これは学者の話ではなく犬の話である。

占師は、訪れてきた客の事実を明らかにしているのではない。客の顔色を見ているのである。客の顔にかぶ安堵の色を、正確にことばで追ってゆくことができる、これが名占

師の資質である。そしてそこには、そのように思いたい私がいる。

今、木屋町の占いの方がまだしも根拠があると思える、あるいは木屋町の占いがまともに見えてくるようなゲームが流行している。

名前を入力するだけで、脳の内部がどのような思いで満たされているかを図示する、はたまた名前を入力するだけで、何週間かの予定表が呈示される、というものである。

たとえ遊びにせよ人間に対してきわめて無礼と言うべきである。が、その流行は、多くの人々の歓迎を示している。

「あたるも八掛、あたらぬも八掛」と、先達は占い（科学的根拠のあるものと同一視してはならないが）の不確実性を、余裕や笑いの中におさ

めとってきた。

今日、特筆すべきは、コンピューターなり、インターネットなりにおける無責任極まりない遊びが、説得力において、本屋にある血液型占解説の小冊子の地位、はたまた木屋町の占師程の地位を得た、ということであろうか。弱い人間が造り出したものではあるが、インターネットという神経を持ったコンピューターは、道具の領域を超えはじめたのかもしれない。

（さかど ひろむ）
教授 国文学